

MARUGOTO

まるごと

日本のことばと文化

入門
A1

文法解説書

JAPAN FOUNDATION
MADRID



はじめに

国際交流基金マドリッド日本文化センター(以下、JFMD)は、2010年4月に開所し、文化芸術交流、海外における日本語教育および日本研究・知的交流の3分野でさまざまな活動を行っています。日本語教育については、スペインの日本語教育の支援活動として教師会活動支援や日本語教育研修会の実施などの教師支援、日本語講座の開講や学習者向けのイベントやなどの学習者支援、日本語教育機関の現状調査やリソースセンターによる情報提供、日本語教育相談などのアドバイザー活動を行っています。

国際交流基金はヨーロッパの言語教育の基盤であるCEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assesment)の考え方を基礎にし、日本語の教え方、学び方、学習成果の評価のし方を考えるためのツールであるJF日本語教育スタンダード(以下、JFS)を開発し、2010年5月に「JF日本語教育スタンダード2010」として発表しました。国際交流基金は、22箇所ある海外拠点において、このJFSに基づく日本語講座を順次開講するとともに、JFSに準拠した教材『まるごと 日本のことばと文化』(以下、『まるごと』)の開発も始め、2011年5月に入門A1試用版を刊行しました。『まるごと』はJFSの理念である「相互理解のための日本語」を目指し、言語と文化の両方を学ぶコースブックです。コミュニケーション言語活動を中心とした「活動編」、コミュニケーション言語能力を中心とした「理解編」、共通トピックに基づく「語彙帳」の3分冊で構成されています。

本書はこの『まるごと』(入門A1試用版)に準拠してJFMDがスペイン日本語教師会と協力して制作した文法解説書です。JFMDの日本語講座はこの『まるごと』とともに歩み始め、2011年2月のモニター講座、7月パイロット講座を経て、10月から本格的な日本語講座を開始しました。モニター講座での試用の際に、教室活動をスムーズに進めるために、スペインの学習者が自習用に参照できる文法解説書の必要性を感じたことから、スペイン日本語教師会とともに、文法解説書の制作に着手することとしました。2011年3月から構想を練り、各課は、提出文法項目の解説と例文を中心とした「文法解説」とスペイン語話者が疑問に思うような日本語表現や文化について読み物的に解説した「スペイン語話者のための！ことばと文化コラム」の2部構成としました。6月初旬に『まるごと』が到着してから急ピッチで執筆と編集会議を重ね、10月に始まった講座で早速試用し、学習者、教師からのフィードバックを得て、修正し、さらに2012年1月からの講座で試用し、完成したものです。

この文法解説書は、スペインの学習者を主な対象としていますが、スペイン国内にとどまらず、JFの他の海外拠点をはじめとしたさまざまな日本語教育機関で活用してもらえよう、日本語版とスペイン語版を同時に制作しました。PDF版としてWeb上で無料公開もしています。執筆者一同、『まるごと』を使用する学習者や教師にとって役立つものとなることを願っております。ご利用の際には、コメントなどいただければ幸いです。

2013年3月
国際交流基金マドリッド日本文化センター
スペイン日本語教師会
執筆者一同

改訂版について

『まるごと 日本のことばと文化』シリーズは、国際交流基金海外拠点の日本語講座での試用を経て、2013年8月から日本国内の三修社より出版されました。出版に際し、一部内容の見直しが行われましたので、文法解説書もそれに合わせた改訂を行いました。引き続き、『まるごと』シリーズを使用される教師と学習者の皆さんにご利用いただければ幸いです。

2018年8月
国際交流基金マドリッド日本文化センター

まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 文法解説書

内容一覧

日本語概説		ページ
1. 文法		
① 文の形		1
② 語の形		1
③ 助詞		1
④ 性・数		1
⑤ 人称		1
2. 言葉遣い		
① 丁寧さのレベル		2
② 口語と文語		2
③ 男女差		2
3. 発音		
① 音節		2
② 母音		2
③ 子音		3
④ 特別な音節		3
⑤ アクセントとイントネーション		3

1 にほんご		ページ
だい1か こんにちは／ひらがな		
1. 平仮名と片仮名		4
2. 漢字		7
3. 数字		7
4. ローマ字		7
5. 表記の注意		8
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 1		9
だい2か もういちど おねがいます／カタカナ		
カナカナ		11
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 2		13

		形	使い方	ページ
2 わたし				
だい3か どうぞ よろしく				
	わたしは マリアです。		自分がだれであるかを言います。	14
	わたしは にほんごが できます。		自分が何語ができるかを言います。	14
	わたしも エンジニアです。		自分がだれかと同じ仕事であることを言います	15
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 3				15
だい4か かぞくは 3にんです				
	かぞくは ちちと ははと わたしです。		自分の家族構成を言います。	18
	あねは おおさかに すんでいます。		住んでいる場所を言います。	18
	あにの こどもは 4さいです。		家族の中の関係を言います。	19
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 4				19
3 たべもの				
だい5か なにが すきですか				
	にくが すきです。		好きな食べ物がなにか話します。	20
	やさいは すきじゃないです。		すきじゃない食べ物が何か話します。	20
	あさごはんを たべます。		なにを食べるか話します。	21
	コーヒーを よく のみます。		どのくらいの頻度で飲むか話します。	21
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 5				21
だい6か どこで たべますか				
	すきな りょうりは カレーです。		すきなりょうりがなにか話します。	23
	ラーメンやさんで ラーメンをたべます。		どこで何を食べるか話します。	23
	あの みせは おいしいです。		どんな店か形容します。	24
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 6				24
4 いえ				
だい7か へやが 3つ あります				
	いえに エアコンが あります。		家に何があるか言います。	26
	いえに ねこが います。		家に何が(誰が)いるか言います。	26
	ベッドが 2つ あります。		部屋に何がいくつあるか言います。	26
	わたしのいえは せまいです。		どんな家にすんでいるか言います。	27
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 7				27
だい8か いい へやですね				
	にんぎょうは たなの うえです。		ものをどこかにおくのを手伝う時、また、頼む時に使います。	29
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 8				30

5 せいかつ	だい9か なんじに おきますか		
	いま なんじですか。	時刻を尋ねます。	32
	9じです。	時刻を言います。	32
	わたしは 7じに おきます。	あることをする時刻を言います。一日の生活を話します。	33
	スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 9		33
	だい10か いつが いいですか		
	かいしゃは 9じから 5じまでです。	始まりと終わりの時刻を言います。	35
	7じかんしごとを します。	時間(期間)を言います。	35
	きんようびが いいです。	いつが都合が良いか言います。	36
	スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 10		36
6 やすみのひ1	だい11か しゅみは なんですか		
	どくしょが すきです。	好きなことについて話します。	38
	ギターが できます。	できることについて話します。	38
	うちで えいがを みます。	どこで何をするかを表します。	39
	ときどき かいものを します。	何かをする頻度を表します。	39
	スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 11		39
	だい12か いっしょに いきませんか		
	どうぶちに コンサートが あります。	あるイベントがいつ行われるかを表します。	41
	こくさいホールで えいがが あります。	どこで何が行われるかを表します。	42
	すもうを みに いきます。	何をしに行くかを表します。	42
いっしょに こうえんに いきませんか。	だれかを何かに誘います。	42	
いきましょう。	何かを一緒にすることを表します。	42	
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 12		42	
7 まち	だい13か どうやって いきますか		
	うちから えきまで バスで いきます。	ある場所からある場所までの行き方を言います。	44
	えきで でんしゃに のります。	どこでどんな交通機関に乗るか言います。	45
	くこうは でんしゃが いいです。	ある場所に行くにはどの交通機関がいいか勧めます。	45
	はやいです から。	ある交通機関を勧める理由を言います。	45
	スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 13		45
	だい14か ゆうめいな おてらです		
	ふるい じんじゃ、にぎやかな まち	街や観光地、建物の様子を形容します。	47
	さいたまに ふるい じんじゃ が あります。	ある街にどんな観光スポットや建物があるか言います。	47
	えきの となり、きつてんの まえ	建物や人の位置を言います。	47
きつてんは えきの となりに あります。	ある建物がどこにあるかを言います。	48	
わたしは きつてんの まえに います。	ある人がどこにいるかを言います。	48	
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 14		48	
8 かいもの	だい15か かわいい！		
	わたしは アクセサリーが ほしいです。	ほしいもの、買いたいものを言います。	49
	わたしは カーラさんにはなを あげます。	人に物をあげる、プレゼントすることを表します。	50
	カーラさんは ホセさんに チョコレートを もらいました。	誰かに何かをもらったことを表します。	50
	きょねん にほんで とけいを かいしました。	どこで何を買ったかを言います。	50
	スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 15		50
	だい16か これ、ください		
	これは いくらですか。	値段を聞くときに、言います。	52
	このTシャツを ください。	買い物で、何かを買う時に 言います。	52
	スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 16		53
9 やすみのひ2	だい17か たのしかったです		
	きのう デパートに 行きました。	休みの日に何をしたか言います。	55
	かいものは たのしかったです。	休みの日にしたことや行った所がどうだったか言います。	55
	デパートは にぎやかでした。		56
	わたしは どこにも いきませんでした。	どこにも行かなかった、何もなかった、ということ言います。	56
	スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 17		56
	だい18か つぎは きょうとに いきたいです		
	おてらを みました。それから、おみやげを かいしました。	旅行中にした行動を、した順番に言います。	57
	おすしは おいしかったです。でも、たかかったです。	旅行中の出来事がどうだったか、2つの対比する感想を言います。	57
	かぶきは きれいでした。そして、おもしろかったです。	旅行中の出来事がどうだったか、2つの並列する感想を言います。	58
きょうとに いきたいです。	次の休みにしたいことを言います。	58	
スペイン語話者のための！ことばと文化コラム 18		58	

まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 文法解説書

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

内容一覧

	ページ
だい1か こんにちは／ひらがな	
1. 出会いの挨拶	9
2. 別れの挨拶	9
3. 感謝のことば	10
4. 謝罪のことば	10
5. 相手の注意をひくための表現	10
だい2か もういちど おねがいます／カタカナ	
1. 「～てください」と「おねがいます」	13
2. 「しつれいします」	13
3. 敬称	13
だい3か どうぞ よろしく	
1. 自分を表す言い方	15
2. 日本人の名前	15
3. 名刺	15
4. 日本語のフィラー	16
5. いろいろな「そうですか。」	16
6. ぺんきょうちゅうです	16
7. すこし	16
8. おなまえ、おしごと、	16
だい4か かぞくは 3にんです	
1. 家族のメンバーの呼び方	19
2. より広い「家族」	19
3. 年齢を聞いてもよい？	19
4. 仕事がなかったら…。	19
だい5か なにが すきですか	
1. たべます、のみます	21
2. ごはん、パン	22
3. 日本の朝ごはん	22
4. コーヒー、のみますか？	22
5. いただきます、ごちそうさま	22
だい6か どこで たべますか	
1. 日本のファーストフード	24
2. 食べ物、店の丁寧な呼び方	25
3. ファーストフード店でよく聞くフレーズ	25
だい7か へやが 3つ あります	
1. 日本の住宅事情	27
2. 日本の部屋番号	28
だい8か いい へやですね	
1. 友だちの家に行く	30
2. 間取りの種類	30
3. 日本の住所	31
4. 表札	31

だい9か なんじに おきますか

1. 時刻の表現いろいろ	33
2. 一日の区分 : 「ごぜん」「ごご」と「あさ」「ひる」「よる」	33
3. 一日の生活	33
4. 動詞「します」	34

だい10か いつが いいですか

1. 曜日	36
2. 誕生日	37
3. おめでとう	37
4. かんばい!	37

だい11か しゅみは なんですか

1. 表現はソフトに	39
2. 日本人の昔からの嗜み	39
3. 日本のスポーツ	40

だい12か いっしょに いきませんか

1. 日本語の誘う表現	42
2. たのしみです。	43
3. 日本語の断る表現	43
4. 約束は早めに	43
5. 日本の四季	43

だい13か どうやって いきますか

1. 日本の乗り物	45
2. すみません、おねがいします	46

だい14か ゆうめいな おてらです

1. 日本の街	48
2. 日本の建物	48

だい15か かわいい!

1. 日本で買物	50
2. 山手線とその沿線	51

だい16か これ、ください

1. 日本のお金	53
2. 日本のお土産 (お菓子)	53

だい17か たのしかったです

1. 顔文字	56
2. 感想など自分の気持ちを表す表現	56
3. 相手の経験について感想をいう表現	56

だい18か つぎは きょうとに いきたいです

1. 日本の観光地 広島	58
2. 日本の観光地 沖縄	58
3. 日本の観光地 京都	58
4. 日本の観光地 北海道	59

日本語概説

1. 文法

① 文の形

日本語の文は名詞文、動詞文、形容詞文の3種類に分類できます。用言はいつも文末にきます。

・名詞文: わたしは がくせい**です**。 Watashi wa gakusee **desu**. Yo soy **estudiante**.
(yo) (estudiante) (ser)

・動詞文: わたしは パンを たべ**ます**。 Watashi wa pan o **tabemasu**. Yo como **pan**.
(yo) (pan) (comer)

・形容詞文: 妹とは かわい**い**です。 Imooto wa **kawaii desu**. Mi hermana menor es **bonita**.
(hermana menor) (bonita)

② 語の形

日本語では動詞の語尾を変化させたり接尾辞をつけたりすることでいろいろな文法的意味をあらわします。

・現在、肯定 か**き**ます kakimasu escribo
・現在、否定 か**き**ません kakimasen no escribo
・過去、肯定 か**き**ました kakimashita escribí
・過去、否定 か**き**ませんでした kakimasendeshita no escribí
・か**き**-た**く**-な**か**った**よう**です kaki-taku-na-katta-yoodesu parece que no quería escribir

(escribir)(querer)(negativo)(pasado)(parece que)

(書く)(～たい)(否定)(過去)(～ようだ)

③ 助詞

日本語では、文中に登場する名詞の後ろに「助詞」とよばれるタグ(etiqueta)が付かなければなりません(名詞文の補部は例外)。ほとんどの助詞は単音節で名詞と一緒に発音されます。一般的に、助詞はその名詞の文中での文法的な位置を示す働きをします。

・わたし**は** としょ**か**ん**で** にほん**ご**を **べ**んき**ょう**します。 Watashi **wa** toshokan **de** nihongo **o** benkyoo-shimasu.
(yo) (biblioteca) (japonés) (estudiar) Yo estudio japonés en la biblioteca.

上の例では、はじめの助詞「は」は文の主題や主語を示します。助詞「で」は活動や動作を行う場所、つまりこの例ではどこで勉強するかを示します。三つ目の助詞「を」は直接目的語、つまりここでは何を勉強するかを示します。

④ 性・数

日本語には性・数の区別がありません。たとえば「ともだち」は‘amigo’, ‘amiga’, ‘amigos’, ‘amigas’の四つの可能性があり、その区別は文脈から判断するか、特に必要があるときは性別や単数複数の別を示す語を添えて表現します。

⑤ 人称

日本語の動詞には人称による違いがありません。「パンをたべます(Pan o tabemasu)」という文で、動作主が誰かは文脈から判断されません。文脈だけからはわからない場合や、特にその人物であることを強調したいときには主語を補います。

2. 言葉遣い

言葉遣いによって特有の語彙や語尾の形が使われます。

① 丁寧さのレベル

丁寧さのレベルで見ると、日本語には大きく分けて、丁寧体、敬語、普通体の3つの言葉遣いがあります。それぞれのグループごとに異なる語彙や動詞の形があります。

丁寧体

「です」「ます」の語尾が使われます。丁寧な話し方で日常生活のあらゆる場面で使えます。

敬語

尊敬語と謙譲語の二つから成ります。社会的な上下関係(部下と上司、学生と先生、店員と顧客、若者と年長者、など)があるときやフォーマルな場面(大人どうし、仕事をする人(プロ)どうし、知らない人どうし)で使われます。日本人にとっても敬語は複雑でマスターするにはたくさん練習が必要です。

普通体

上記ではない、「短い」語尾が使われます。新聞記事やレポートなど、一般を対象とした文書、そしてインフォーマルな(くだけた)会話のときに使われます。

② 口語と文語

現代日本語では書き言葉(escrito)と話し言葉(hablado)に大きな違いはありません。ほとんどの要素が共通ですが、一方にだけ使われるものもあります。語彙は口語では和語、文語では漢語を使う傾向があります。

③ 男女差

会話の言葉遣いには男女差が見られますが、だんだん差がなくなりニュートラルな表現が好まれるようになってきています。

例:「yo」→「わたし」ニュートラル、「あたし」女性口語、「ぼく」男性口語(年少者～成人、「おれ」男性口語(より男性的))

3. 発音

① 音節

日本語の音節は「母音」だけか「子音+母音」で作られ、「母音」で終わります。「子音」だけ、「母音+子音」の音節はありません。

② 母音

日本語の母音は「a」、「i」、「u」、「e」、「o」の五つです。スペイン語の母音とよく似ていますが、いずれもスペイン語の母音ほど大きく口を開けて発音する必要はありません。たとえば「い」はスペイン語ほど口を横に引きませんし、「う」も強く唇を丸めて突き出さず、口をリラックスさせて発音します。日本語にはこれらの母音を組合わせた二重母音や三重母音はありません。母音が続いていても、それぞれ一つの長さを均等に保って発音します。「いいえ(lie / no, de nada, no hay de que)」は3倍の長さです。

③ 子音

日本語の子音は「k」、「s」、「t」、「n」、「h」、「m」、「y」、「r」、「w」、「g」、「z」、「d」、「b」、「p」です。ふつうは後ろに母音を続けて一つの音節になります。例外として「n」は母音が後ろに付いて音節を作るだけでなく、この子音だけで一つの音節になることもできます。

そのほかのそれぞれの子音の注意点は平仮名、片仮名の欄で見ましょう。

- ・「n」+「a」、「i」、「u」、「e」、「o」 → 「na」、「ni」、「nu」、「ne」、「no」
- ・「n」だけ → 「n」

④特別な音節

長音(長母音)

「おはようohayoo」、「ありがとうarigatoo」は、それぞれ「よyo」、「とto」を長くのばして発音します。長さはほぼ、ふつうの音節の2倍です。長音は十分に長さを保つ必要があります。

正しい長さ

o	ha	yo	o
---	----	----	---

a	ri	ga	to	o
---	----	----	----	---

正しくない長さ

o	ha	yo
---	----	----

a	ri	ga	to
---	----	----	----

促音

日本語にはスペイン語の「blanco」の「bl」、「drama」の「dr」のような二重子音はありません。日本語の促音は「いってください (Itte kudasai / Diga por favor)」、「ゆっくり(yukkuri / despacio)」のような音です。同じ子音を二つ続けて、一つ目は母音なしで息を止めるようなイメージで一音節分の長さを保って発音します。

正しい長さ

i	t	te	ku	da	sa	i
---	---	----	----	----	----	---

yu	k	ku	ri
----	---	----	----

正しくない長さ

it	te	ku	da	sa	i
----	----	----	----	----	---

yuk	ku	ri
-----	----	----

撥音、はねる音

「こんにちは kon'nichiwa」や「こんばんは konbanwa」の「n」の音は、単独で音節になります。後ろに続く音によって「n」や、「m」や、「ng」のように発音しますが、日本語ではこれらの音を区別していません。

正しい長さ

ko	n	ni	chi	wa
----	---	----	-----	----

ko	n	ba	n	wa
----	---	----	---	----

正しくない長さ

kon	ni	chi	wa
-----	----	-----	----

kon	ban	wa
-----	-----	----

⑤ アクセントとイントネーション

日本語のアクセントは高低アクセントです。名詞、動詞、形容詞などには高い部分と低い部分があります。単語の頭か、真ん中か、最後かのいずれか一箇所を高く発音します。同じ単語でも地方によってアクセントが違う場合がありますが、標準語のアクセントとされているものは東京のアクセントを基準にしています。『ごいちょう』では記号を使ってアクセントが示されていますので参考にしてください。

1. ごはん		GOHAN	arroz	2. たまご		TAMAGO	huevo
3. さしみ		SASHIMI		4. さかな		SAKANA	pescado

(が)

一つ一つの単語のアクセントにはバリエーションがありますが、イントネーションは日本語で共通なうえに文意に影響を及ぼすこともあるので、より注意が必要です。一般的には意味のまとまりごとに一つの丘のような高低のカーブを持ちます。疑問文ではその丘の後で文末が上がります。

・はじめまして。		ホセです。		どうぞよろしく。		おなまえは？		Encantado. Soy José. ¿Cómo se llama usted?
Hajimemashite.		Hose desu.		Doozo yoroshiku.		Onamae wa.		

だい1か こんにちは／ひらがな

KONNICHIWA / HIRAGANA

日本語の文字には、平仮名、片仮名、漢字があります。日本語の文を書くときはこれらを混ぜて使います。動詞や形容詞の語幹、名詞などは漢字で、活用語尾や助詞などは平仮名で書きます。漢字の代わりに平仮名を使うこともよくあります。平仮名だけで書かれた本、漢字はやさしい字だけ使っているもの、漢字に読み方を示す小さい平仮名(振り仮名)が添えられているものなどがあります。片仮名は外来語、外国の地名や人名、擬音語や擬態語などを書くのに使われます。そのほかに、ローマ字、数字も使います。

・振り仮名のついた漢字：

にほんご 日本語

1. 平仮名と片仮名

平仮名と片仮名は、日本で作られました。平仮名は漢字を崩して書いた書体から作られ、形は丸みを帯びています。片仮名は漢字の一部をとったもので、直線的な形をしています。どちらももとの漢字のもつ意味は失って、音だけを表わす表音文字です。一つの文字が一つの音節をあらわします。平仮名「あ」と片仮名「ア」はどちらも「a」という音節を、平仮名「か」と片仮名「カ」はどちらも「ka」という子音と母音の組み合わせの音節をあらわします。

①各かな文字の発音上の注意(平仮名・片仮名共通)

平仮名と片仮名は次のページのように規則的な「子音+母音」の表にまとめられますが、注意すべき点がいくつかあります。

・「し／シ」「s」の行にありますが「si」ではなく「shi」の音です。

・「ち／チ」「t」の行にありますが「ti」ではなく「chi」の音です。

・「つ／ツ」「t」の行にありますが「tu」ではなく「tsu」の音です。

・「ふ／フ」「h」の行にありますが「hu」ではなく「fu」の音です。

・「や／ヤ」「ゆ／ユ」「よ／ヨ」

ローマ字で「ya」、「yu」、「yo」と書き表されますが、「ia」、「iu」、「io」に近い音です。「lla」、「llu」、「llo」ではありません。

・「ら／ラ」「り／リ」「る／ル」「れ／レ」「ろ／ロ」

ローマ字では「r」で書き表されていますが、日本語には「r」と「l」の区別がありません。単語によって、また発話者によって「r」、「l」、「rとl」の中間の音が使われます。これら3者であればいずれも同じ音として扱われています。

・「を／ヲ」「w」の行にありますが「お／オ」と同じ「o」の音です。「お／オ」を主に使い、助詞の場合だけ「を／ヲ」を使います。片仮名は外来語などを書くのにだけ使われているので、片仮名の「ヲ」は特別な場合を除いてほとんど使われません。

・「じ／ジ」「ち／チ」

どちらも「ji」の音です。「じ／ジ」を主に使い、「ち／チ」の音が変化した単語の場合だけ「ち／チ」を使います。

・「ず／ズ」「づ／ヅ」

どちらも「zu」の音です。「ず／ズ」を主に使い、「づ／ヅ」の音が変化した単語の場合だけ「づ／ヅ」を使います。

ひらがな

	a	i	u	e	o		a	i	u	e	o
	あ	い	う	え	お						
k	か	き	く	け	こ	g	が	ぎ	ぐ	げ	ご
s	さ	し shi	す	せ	そ	z	ざ	じ ji	ず zu	ぜ	ぞ
t	た	ち chi	つ tsu	て	と	d	だ	ぢ ji	づ zu	で	ど
n	な	に	ぬ	ね	の						
h	は	ひ	ふ fu	へ	ほ	b	ば	び	ぶ	べ	ぼ
m	ま	み	む	め	も	p	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
y	や		ゆ		よ						
r	ら	り	る	れ	ろ						
w	わ				を o	ん n					

	ya	yu	yo		ya	yu	yo
k	きゃ	きゅ	きょ	r	りゃ	りゅ	りょ
s	しゃ sha	しゅ shu	しゅ sho	g	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
t	ちゃ cha	ちゅ chu	ちゅ cho	j	じゃ ja	じゅ ju	じゅ jo
n	にゃ	にゅ	にょ	b	びゃ	びゅ	びょ
h	ひゃ	ひゅ	ひょ	p	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
m	みゃ	みゅ	みょ				

カタカナ

	a	i	u	e	o		a	i	u	e	o
	ア	イ	ウ	エ	オ						
k	カ	キ	ク	ケ	コ	g	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
s	サ	シ shi	ス	セ	ソ	z	ザ	ジ ji	ズ zu	ゼ	ゾ
t	タ	チ chi	ツ tsu	テ	ト	d	ダ	ヂ ji	ヅ zu	デ	ド
n	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ						
h	ハ	ヒ	フ fu	ヘ	ホ	b	バ	ビ	ブ	ベ	ボ
m	マ	ミ	ム	メ	モ	p	パ	ピ	プ	ペ	ポ
y	ヤ		ユ		ヨ						
r	ラ	リ	ル	レ	ロ						
w	ワ				ヲ o	ン n					

	ya	yu	yo		ya	yu	yo
k	キャ	キュ	キョ	r	リャ	リュ	リョ
s	シャ sha	シュ shu	シュ sho	g	ギャ	ギユ	ギョ
t	チャ cha	チュ chu	チュ cho	j	ジャ ja	ジュ ju	ジュ jo
n	ニャ	ニユ	ニョ	b	ビャ	ビユ	ビョ
h	ヒャ	ヒユ	ヒョ	p	ピャ	ピユ	ピョ
m	ミャ	ミュ	ミョ				

② 特別な音の表記

長音

平仮名では、長音 vocal larga は以下のように書きます。(片仮名の長音の書き方は2課参照のこと)

「あ」「か」「さ」など「あ」段の長音には「あ」を書きます。 おかあさん **okaasan** madre (de segunda, o tercera persona)

「い」「き」「し」など「い」段の長音には「い」を書きます。 いいえ **iiie** no

「う」「く」「す」など「う」段の長音には「う」を書きます。 ゆうめい **yuumee** famoso

「え」「け」「せ」など「え」段の長音には「い」を書きます。 がくせい **gakusee** estudiante

「お」「こ」「そ」など「お」段の長音には「う」を書きます。 おはようございます **ohayoo**gozaimasu Buenos días.

例外が少しあります。

「え」段の長音に「え」を書く単語もあります。 おねえさん **oneesan** hermana mayor (de 2a o 3a persona)

「お」段の長音に「お」を書く単語もあります。 おおきい **ookii** grande

促音

平仮名、片仮名とも、促音 doble consonante は、どの子音のときでも小さい「っ」を書いて表します。

いってください **ittekudasai** Diga, por favor.

ゆっくり **yukkuri** despacio

ホットドッグ **hottodoggu** perrito caliente

撥音

平仮名、片仮名とも、撥音 は子音「n」だけで一音節になる音です。後ろに続く音節の音によって「n」や、「m」や、「ng」のように発音しますが、日本語ではこれらを区別していません。いずれも「ん」で書き表します。

こんにちは **kon'nichiwa** Buenas tardes.

こんばんは **konbanwa** Buenas noches.

マンション **manshon** piso

拗音

平仮名、片仮名とも、拗音は「き／キ ki」、「し／シ shi」、「ち／チ chi」など「i」の段の音に、小さい「ya や／ヤ」「yu ゆ／ユ」「yo よ／ヨ」を添えて書きます。「きや／キヤ」、「きゅ／キユ」、「きょ／キョ」はローマ字では「kya」、「kyu」、「kyo」と書きます。「きや／キヤ」は「き ki」と「や ya」を合わせた音で二重母音「kia」のように発音します。「きゅ／キユ」、「きょ／キョ」の発音は「kiu」、「kio」です。二文字で書きますが発音は一音節で短いという点が要注意です。

きょうしつ **kyooshitsu** aula

シャツ **shatsu** camisa

③ 表記と発音の不一致

助詞の中には、文字の音とその文字で書いた語の発音が一致しないものがあります。

・助詞の「wa」は「は」を使って書きます。発音は「わ」と同じです。「は」はほかの単語では「ha」の音をあらわします。

・助詞の「e」は「へ」を使って書きます。発音は「え」と同じです。「へ」はほかの単語では「he」の音をあらわします。

・助詞の「o」は「を」を使って書きます。発音は「お」と同じです。「を」はほかの単語で使うことはありません。

ルールとして決まっているわけではなく、地域差や個人差もありますが、母音「i」「u」が弱かったり発音されない場合があります。たとえば「～です」「～ます」は「～des」「～mas」と聞こえます。「しつれいします」は「sh(i)tsree sh(i)mas」と聞こえます。

2. 漢字

漢字は中国で作られました。意味を表わす表意文字です。一つの漢字に複数の読み方があります。もともとの日本語の単語としての読み方(訓読み)と、中国語から入ってきた読み方(音読み)があります。一つの漢字でいろいろな単語を書き表すことができます。

- ・漢字「人」 : 漢字の意味「persona」
 - 訓読み「ひと」 → 単語例「人」 : 単語の意味「persona」
読み方「ひと」
 - 音読み「にん」 → 単語例「3人」 : 単語の意味「tres persona」
読み方「さんにん」
 - 音読み「じん」 → 単語例「日本人」 : 単語の意味「japonés (persona)」
読み方「にほんじん」

3. 数字

数字は漢字で書く場合とアラビア数字で書く場合があります。縦書きの場合は漢字で、横書きのときにはアラビア数字で書くことが多いようです。アラビア数字の場合に、スペイン語とは逆に、小数点位置を表わすには「. (punto)」を、1000 ごとの位を表わすには「, (coma)」を使います。(各数字の呼び方は『ごいちょう』p.80「かず」を参照)

	スペイン語	日本語		日本語縦書き
			二	↑ 2
・veinticinco mil	25.000	25,000	万	↑ 10,000
・diez coma cinco	10,5	10.5	五	↑ 5
			千	↑ 1,000

4. ローマ字

ローマ字は略号や記号として使ったり、平仮名や漢字で書いた文章の中である語を目立たせたいときなどに使うことがあります。読み方は英語での読み方をもとにしていて、スペイン語とは違う場合があります。ローマ字の一般的な綴り方も決まっています。

- ・「a」 「ee」と読みます。母音「あ a」の音を書くのにつかいます。
- ・「i」 「ai」と読みます。母音「い i」の音を書くのにつかいます。
- ・「u」 「yuu」と読みます。母音「う u」の音を書くのにつかいます。
- ・「e」 「ii」と読みます。母音「え e」の音を書くのにつかいます。
- ・「o」 「oo」と読みます。母音「お o」の音を書くのにつかいます。
- ・「k」 「quee」と読みます。「ka」、「ki」、「ku」、「ke」、「ko」は、「か ca」、「き qui」、「く cu」、「け que」、「こ co」をあらわします。
- ・「s」 「esu」と読みます。「sa」、「su」、「se」、「so」は「さ sa」、「す su」、「せ se」、「そ so」をあらわします。
「し si」は『まるごと』では「shi」と書いています。「si」という書き方もあります。
「sha」、「shu」、「sho」は「しゃ sha」、「しゅ shu」、「しょ sho」をあらわします。「sya」、「syu」、「syo」という書き方もあります。
- ・「t」 「tii」と読みます。「ta」、「te」、「to」は「た ta」、「て te」、「と to」をあらわします。
「ち chi」は『まるごと』では「chi」と書いています。「ti」という書き方もあります。
「cha」、「chu」、「cho」は「ちゃ cha」、「ちゅ chu」、「ちょ cho」をあらわします。「tya」、「tyu」、「tyo」という書き方もあります。
- ・「n」 「enu」と読みます。「na」、「ni」、「nu」、「ne」、「no」は、「な na」、「に ni」、「ぬ nu」、「ね ne」、「の no」をあらわします。
後ろに母音をつけず「n」単独で「ん n」をあらわします。
- ・「h」 「eichi」と読みます。「ha」、「hi」、「he」、「ho」は、「は ja」、「ひ ji、gi」、「へ je、ge」、「ほ jo」をあらわします。
「ふ fu」は『まるごと』では「fu」と書いています。「hu」という書き方もあります。

- ・「m」 「emu」と読みます。「ma」、「mi」、「mu」、「me」、「mo」は、「ま ma」、「み mi」、「む mu」、「め me」、「も mo」をあらわします。
- ・「y」 「wai」と読みます。「ya」、「yu」、「yo」は「や ia」、「ゆ iu」、「よ io」をあらわします。
- ・「r」 「aaru」と読みます。「ra」、「ri」、「ru」、「re」、「ro」は、「ら ra」、「り ri」、「る ru」、「れ re」、「ろ ro」をあらわします。
スペイン語の「rr」のように強く発音されることはありません。
- ・「w」 「daburyuu」と読みます。「wa」は、「わ wa」をあらわします。
- ・「g」 「llii」と読みます。「ga」、「gi」、「gu」、「ge」、「go」は、「が ga」、「ぎ gi」、「ぐ gu」、「げ ge」、「ご go」をあらわします。
- ・「z」 濁音です。「zetto」と読みます。「za」、「zu」、「ze」、「zo」は「ざ za」、「ず、づ zu」、「ぜ ze」、「ぞ zo」をあらわします。
「じ、ぢ zi」は『まるごと』では「ji」と書いています。「zi」という書き方もあります。
「ja」、「ju」、「jo」は「じゃ IJa」、「じゅ IJu」、「じょ IJo」をあらわします。「zya」、「zyu」、「zyo」という書き方もあります。
- ・「d」 「dii」と読みます。「da」、「de」、「do」は「だ da」、「で de」、「ど do」をあらわします。
- ・「b」 「bii」と読みます。「ba」、「bi」、「bu」、「be」、「bo」は、「ば ba」、「び bi」、「ぶ bu」、「べ be」、「ぼ bo」をあらわします。
- ・「p」 「pii」と読みます。「pa」、「pi」、「pu」、「pe」、「po」は、「ぱ pa」、「ぴ pi」、「ぷ pu」、「ぺ pe」、「ぽ po」をあらわします。

5. 表記の注意

① 字の形のバリエーション

同じ文字でもフォントの違いや、印刷文字と手書き文字とで字の形に多少のバリエーションがあります。手書きで書く場合には優先される字形もありますので、いくつか例をあげます。

- ・「sa」のひらがなは印刷文字では「さ」のように2画目と3画目が離れているものと、「さ」のように続けて書いたように見えるものがあります。本来は3画の文字ですし、続けて書くと「chi」のひらがな「ち」を左右逆にした形と似ていて混同しやすいので、ふつうは手書きでは「さ」のように2画目と3画目を離して書きます。「ki」も同様に手書きでは「き」と書くよりも「き」と書くのが一般的です。
- ・「ひと(persona)」の漢字「人」と「人」は同じ文字です。印刷のフォントでは上半分が中心に垂直な線のものがありますが、手書きでは1画目は右上から左下へ向かって斜めに書きます。
- ・印刷の線には書き始めが鉤型になっているものや角から突き出しているものがあります。手書きではこのように書く必要はありません。
- ・「ne」のかたかなの1画目は「ネ」のように垂直な短い線で2画目と接しているフォントがありますが、手書きでは「ネ」のように左上から右下へ向かう斜めの線で、2画目と接する必要はありません。このように、手書きでは点でも印刷では短い線の文字はたくさんあります。

② いろいろな記号

「。(まる)」はピリオドと同じように文末につけて文の終わりを示します。

- ・おはようございます。 Ohayoo gozaimasu. **Buenos días.**

「、(てん)」はコンマと同じように、文の途中の意味の切れ目につけます。

- ・じゃあ、また。 Jaa, mata. **Entonces, hasta luego.**

文末に助詞「か」があることで疑問文を示すので「？」はつけなくてもよいです。「か」で終わらない疑問文の場合は「？」をつけると疑問文であることがわかりやすくなります。インフォーマルな文章では「か」があっても「？」をつけることがあります。厳密に使い方が決まっている記号ではなく、書き手の好みによって使われています。文末にだけつけます。

- ・おなまえは？ Onamae wa **¿Su nombre?**

「！」も厳密に使い方が決まっている記号ではありませんが、フォーマルな文章ではあまり使いません。文末にだけつけます。

- ・きれいですね！ Kiree desu ne. **¡Qué guapa!**

会話文を引用するときには“ “ではなく「 」で前後を囲みます。特定の語を目立たせたいときにも使います。文の中に注記を挟みこむときは前後を()で囲みます。

③ 縦書きと横書き

日本語は縦書きにも横書きにもできます。縦書きではページの右側から第1行目が始まり、左へ進みます。ほとんどの出版物は縦書きなので、右側に綴じ目があります。ビジネス文書や官公庁の公文書などは左から右への横書きのものが主流です。

④ 単語と単語の間のスペース

日本語は漢字と仮名を混ぜて書くことで視覚的に単語の切れ目を把握することができるため、単語と単語の間にスペースを入れずに続けて書きます。単語の切れ目がわかりにくい場合には「、(てん)」を打ちます。漢字の習得数の少ない子どもや外国人向けには、分けて書かれたものがあります。

一つの単語が途中から前の行の最後と次の行の頭に分かれてしまっても問題はありませぬ。ハイフンで切れ目を示す必要もありません。促音の小さい「っ」、拗音の小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」、「、(てん)」、「。(まる)」、「?」、「!」、閉じ括弧は文頭に置くことができません。

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 出合いの挨拶

スペイン語には「Hola」という便利な挨拶の表現がありますが、日本語では基本的に時間帯によって挨拶の表現を使い分けます。

① 「おはようございます」

朝、午前の早い時刻に人と会ったときに使う挨拶です。お辞儀をしながら言うことが多いです。家族や友人などの近い間柄では「おはよう」とだけ言います。お辞儀は必要ありません。言われた人も同じように「おはよう」や「おはようございます」とこたえます。午前中でも日が高くなって昼に近い時刻になると「おはよう」は使わずに、次の「こんにちは」を使います。形容詞「はやい(temprano)」からできた表現だからです。その日初めて会ったときに使う挨拶であることから、テレビ局のスタッフや飲食店の従業員などは夕方や夜でも出勤時に「おはようございます」と挨拶をする習慣があり、最近では一般の間でも朝以外の時間帯にこの表現を使う人がいるようです。

② 「こんにちは」

日中、人と会ったときに使う挨拶です。家族同士では使いません。お辞儀をしながら言うことが多いですが、親しい間柄では不要です。午前の遅い時刻から夜暗くなる前までの時間帯に使います。言われた人も「こんにちは」とこたえます。「今日はご機嫌いかがですか(Hoy, ¿cómo está usted?)」の後ろの部分を省略した表現で「wa」は助詞の「wa」ですから、本来は「こんにちは」と書きますが、最近では「こんにちはわ」と書く人もいます。インフォーマルな手紙やメールの冒頭の挨拶にも使います。

③ 「こんばんは」

夜、人と会ったときに使う挨拶です。家族同士では使いません。お辞儀をしながら言うことが多いですが、親しい間柄では不要です。言われた人も「こんばんは」とこたえます。「こんにちは」と同じように「今晩はご機嫌いかがですか(Esta noche, ¿cómo está usted?)」の後ろの部分を省略した表現です。本来は「こんばんは」と書きますが、「こんばんわ」と書く人もいます。

2. 別れの挨拶

別れの挨拶には時間帯による使い分けはありません。人間関係や場面によって使い分けがあります。

①「さようなら」

いちばん代表的な別れの表現です。言われた人も「さようなら」とこたえてもいいですし、次の②の表現でこたえることもできます。一日の仕事や学校が終わって家に帰るとき、旅行や長期休暇でしばらく会わないとき、次回会う予定がない別れ、などに使います。

②「じゃあ、また」

「Entonces, hasta luego」というような意味の軽いインフォーマルな表現です。「じゃあ」とだけ言うこともできます。次回会うのがいつかわかっているときには「また明日(Hasta mañana)」、「また来週(Hasta la semana que viene)」、「また木曜日(Hasta el jueves)」、次回会う時

期が未定の場合には「またいつか(Hasta otro día)」、「また今度(Hasta la próxima)」などとも言います。同じ日にもう一度会う予定の場合には「また後で」と言います。友人同士などの親しい間柄でよく使われます。「じゃあ」は丁寧度が低いので、職場の上司から部下へのように目上の人から目下の人には使えませんが逆に部下から上司へは使いません。次の③の表現を使います。

③「おさきに しつれいします」、「おつかれさまでした」

職場で一日の仕事が終わって退出するときに使われる表現です。先に退出するほうが「おさきに(antes que usted) しつれいします(con su permiso)」と挨拶し、言われた方は相手の一日の労働をねぎらって「おつかれさまでした」と言います。先に退出するのが上司の場合は「おさきに」と短い形を使います。同時に退出する場合はお互いに「おつかれさまでした」と言い合います。

3. 感謝のことば

①「ありがとうございます」

一般的なお礼の表現です。感謝の気持ちを強く表したいときには「どうも ありがとうございます」とも言います。家族や友人間などの親しい間柄や丁寧さが不要な場合には「ありがとう」や「どうも」とだけ言います。プレゼントをもらったとき、ドアを開けてもらったときなどに使うことができます。文書の翻訳をしてもらったとき、買い物をしてきてもらったときなど、時間や手間のかかることをしてもらったときには「ありがとうございました」と文末が過去形の表現を使います。日本には、今、受けた好意に対してだけでなく、以前に受けた好意に言及して後日お礼を言う習慣があります。そのときにも「この間は(El otro día) ありがとうございました」のように言います。言われた人は「いいえ(De nada)」「どういたしまして(No hay de que)」などとこたえます。

②「すみません」

本来はお詫びの表現ですが、自分のために何かをしてくれたことが相手の負担になったことをすまなく思うということによって感謝を表します。成人同士では「ありがとうございます」よりも「すみません」のほうがよく使われているようです。両方を重ねて言うことも多いです。

4. 謝罪のことば

「すみません」は上記のように本来はお詫びの表現です。言われた人は「いいえ(No pasa nada)」などとこたえます。

5. 相手の注意をひくための表現

「すみません」にはもう一つ、三つ目の用法があります。レストランでウェイター、ウェイトレスに来てもらいたいとき、「すみません」と呼びます。呼ばれたら「はい」とこたえます。誰かに何かを依頼するときや、教室で学生が先生に何かを質問するときも、いきなり用件を言うのではなく、まず「すみません」と声をかけて相手の注意をひきます。

だい2か もういちど おねがいします／カタカナ

MOO ICHIDO ONEGAI SHIMASU / KATAKANA

1. カタカナ

カタカナの綴り方で、ひらがなとは違うものについて説明します。

① 長音

カタカナの長音はどの母音でも記号「ー」で表します。横書きでは水平、縦書きでは垂直な線です。

・ヨーロッパ	YOOROPPA	europa	ヨ ー ロ ッ パ	コ ー ヒ ー
・コーヒー	KOOHII	café		

② 外来語音表記の文字

もともとの日本語になかった外来語の音を書き表すために、平仮名にはない組み合わせがあります。

	ウィ wi		ウエ we	ウオ wo	・ガウディ GAUDI Gaudi
			シェ she		・ソファ SOFA sofá
	ティ ti	トゥ tu			・フィリピン FIRIPIN Filipinas
			チェ che		・パーティー PAATII fiesta
ツァ tsa			ツェ tse	ツォ tso	
ファ fa	フィ fi		フェ fe	フォ fo	
			ジェ je		
	ディ di	ドゥ du			
		デュ dyu			

③ 外来語の表記のしかた

原語の綴りからではなく、耳で聞いた音を、カタカナの音の中でできるだけ近い音に置き換えます。「子音＋母音」または「母音」の単位に区切って、一文字に置き換えます。後ろに母音のない子音には母音を補います。「d」「t」には「o」を、そのほかの子音には「u」を補います。アクセントのある音節は長音や促音になる場合があります。

・マドリード MADORIIDO	Madrid	→ 「ma」	→ 子音＋母音	→ 「マ(MA)」
		→ 「d」	→ 母音を補う	→ 「ド(DO)」
		→ 「ri」	→ 子音＋母音、	
			アクセントがあり長音になる	→ 「リー(RII)」
		→ 「d」	→ 母音を補う	→ 「ド(DO)」

* 「マドリード」は「マドリッド」と書くこともあります。

④ スペイン人名

Almudena	アルムデナ	David	ダビド／ダビッド
Carmen	カルメン	Diego	ディエゴ
Cristina	クリスティナ／クリスティーナ	Eduardo	エドゥアルド／エドワルド
Diana	ディアナ	Federico	フェデリコ
Estefania	エステファニア	Florentino	フロレンティノ／フロレンティーノ
Esther	エステル	Guillermo	ギジェルモ
Irene	イレネ／イレネ	Hector	エクトル
Isabel	イサベル	Javier	ハビエル
Josefina	ホセフィナ	Jorge	ホルヘ
Julia	フリア	Juan	フアン／ホアン
Matilde	マティルデ	Miguel	ミゲル
Mercedes	メルセデス	Pablo	パブロ
Montserrat	モンセラット／モンセラート	Rafael	ラファエル
Pilar	ピラール	Santiago	サンティアゴ／サンチャゴ
Sofía	ソフィア	Sebastián	セバスティアン／セバスチャン
Yolanda	ジョランダ	Sergio	セルヒオ

⑤ スペイン地名

Spain	スペイン	Cataluña	カタルーニャ／カタルニア
España	エスパニャ	Extremadura	エストレマドゥーラ／エストレマドゥーラ
Andalucía	アンダルシア	Galicia	ガリシア
Aragón	アラゴン	La Rioja	ラ・リオハ
Asturias	アストゥリアス	Madrid	マドリッド／マドリッド
Baleares	バレアレス	Murcia	ムルシア
País Vasco	バスク	Navarra	ナバラ／ナバーラ
Canarias	カナリアス	Valencia	バレンシア
Cantabria	カンタブリア	Barcelona	バルセロナ
Castilla La Mancha	カスティーリャ・ラ・マンチャ／ カスティージャ・ラ・マンチャ	Sevilla	セビリア／セビーリャ／セビージャ
Castilla y León	カスティーリャ・イ・レオン／ カスティージャ・イ・レオン	Zaragoza	サラゴサ
		Málaga	マラガ
		Bilbao	ビルバオ

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 「～てください」と「おねがいします」

「きいてください」、「みてください」のように、「(動詞)＋てください」は、ある行動をするように指示する表現です。先生が学生に、医者が患者に、会合の主催者が参加者に、指示するときなどに使います。依頼の表現としても使うことができます。

「おねがいします」は「por favor」のように依頼に添えることができる表現です。

2. 「しつれいします」

相手への失礼を詫げる表現です。1課では職場での別れの挨拶で紹介されていました。ほかにも授業や会議の途中で部屋から出るとき、逆に部屋に入ってくるときにも、軽い挨拶として使います。「ちょっと、しつれいします」「すみません。しつれいします」のようにも言います。

3. 敬称

相手の名前を言うときには敬称をつけるのが一般的です。「～さん」は男女や年齢を問わず広く使われます。友人どうしでは「名前＋さん」も使いますが、会社やあまりよく知らない人どうしでは名字に「～さん」を付けて呼びます。そのほか、小さい子どもや可愛がっている人には「～ちゃん」、男の子には「～くん」、とてもフォーマルな場合には「～さま」、教師や医者に対しては「～先生」などがあります。

日本語では、相手の名前がわかっているときには「あなた」というよりも名前を言うほうが好まれます。

だい3か どうぞ よろしく

Doozo yoroshiku

はじめまして。
Hajimemashite.
わたしは マリアです。
Watashi wa Maria desu.



のだ です。
Noda desu.
どうぞ よろしく。
Doozo yoroshiku.

形

- ・わたしは マリア **です**。 Watashi **wa** Maria **desu**.
- ・わたしは にほんごが **できます**。 Watashi wa nihongo **ga** **deskimasu**.
- ・わたし**も** エンジニア **です**。 Watashi **mo** enjinia **desu**.

使い方

- ・自分がだれであるかを言います。
- ・自分が何語ができるかを言います。
- ・自分がだれかと同じ仕事であることを言います。

1. わたしは マリアです。 Yo soy María.

「AはBです」は「AがBである」というために使います。Aには主題または主語、BにはAが何、または誰であるかがきます。Aのあとには助詞の「は」を付けます。また、この助詞は「は」と書きますが、/wa/と発音します。否定文のときは「です」が「じゃありません」になります。「じゃありません」の「じゃ」は口語になったときの縮約形で、本来の形は「ではないです」です。疑問文のときは文末に「か」を付けます。疑問詞をつかうときは情報が欲しいところに置きます。文頭に置く必要はありません。文は上昇イントネーションで発音します。また、会話が始まったら、文全体を言わず、疑問を持っていることだけを上昇イントネーションで聞くこともできます。

- ・わたしは がくせい **です**。 Watashi **wa** gakusee **desu**. Yo soy estudiante.
- ・わたしは がくせい **じゃありません**。 Watashi **wa** gakusee **janai desu**. Yo no soy estudiante.
- ・わたしは がくせい **ではないです**。 Watashi **wa** gakusee **dewanai desu**. Yo no soy estudiante.
- ・マリアさんは がくせい **ですか**。 Maria-san **wa** gakusee **desu ka**. María, ¿eres estudiante?
- ・おしごとは **なん**ですか。 Oshigoto wa **nan** **desu ka**. ¿Cuál es su trabajo?
- ・おしごとは? Oshigoto wa? Y ¿su trabajo?

2. わたしは にほんごが できます／できません。 Sé/No sé japonés.

文末に来る動詞には「ます」という語尾がつきます。否定形は「ません」です。疑問文のときは文末に「か」を付けます。

- ・わたしは にほんごが **できます**。 Watashi wa nihongo **ga** **dekimasu**. Yo sé japonés.
- ・わたしは にほんごが **できません**。 Watashi wa nihongo **ga** **dekimasen**. Yo no sé japonés.
- ・マリアさんは にほんごが **できますか**。 Maria-san wa nihongo ga **dekimasu ka**. María, ¿sabes japonés?
- ・マリアさんは **なに**が **できますか**。 Maria-san wa **nanigo** ga **dekimasu ka**. María, ¿qué idiomas sabes?

3. わたしも エンジニアです。 Yo también soy ingeniero.

「も」は también の意味です。この場合、「A は B です」の「は」は「も」に代わります。

・A: わたしは エンジニア です。 Watashi wa enjinia desu. Yo soy ingeniero.

B: わたしも エンジニア です。 Watashi mo enjinia desu. Yo también soy ingeniero.

4. マリアさんは せんせい ですか。 María, ¿eres profesora?

「か」には疑問文であることを示すことと驚きを表すことの2つの役割があります。疑問文の時、文末はトーンがあがり、「か」はこの文が疑問文であることを示します。驚きを表す時、文末はトーンが下がり、「か」はこの文が話し手にとって驚きを表していることを示します。

・マリアさんは せんせい ですか。 Maria-san wa sensee desu ka. María, ¿eres profesora?

・A: わたしは エンジニア です。 Watashi wa enjinia desu. Yo soy ingeniero.

B: そうですか。 Soodesu ka. ¡Qué bien!

5. ホセさんですね。 Eres José, ¿verdad?

「ね」には確認を表すことと、賛辞を表すことの2つの働きがあります。次の例で、B は A の名前を正しく聞き取れなかったために、確認しています。文末はトーンが上がり、「ね」はこの文が確認であることを示します。それに対して、次の例は賛辞の場合です。文末はトーンが下がり、「ね」はこの文が褒め言葉であることを示します。

・A: ホセ です。 Hose desu. Yo soy José.

B: ホセさん ですね。どうぞ よろしく。 Hose-san desu ne. Doozo yoroshiku. José, ¿verdad? Mucho gusto.

・そうですか。 すごいですね。 Soodesu ka. Sugoidesu ne. ¿De verdad? ¡Qué genial!

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 自分を表す言い方

日本語には1人称単数 yo を表す言葉が性別や言葉遣いによってたくさんあります。「わたし」は だれでも使うことができる丁寧な言い方です。また、よりかしこまった場合には「わたくし」を使います。「ぼく」は男性が使う言葉です。それに対して女性は「あたし」を使ったりします。「じぶん」は本来、sí mismo, por sí solo の意味の言葉ですが、最近1人称単数の代名詞としても使われます。

2. 日本人の名前

日本では夫婦が同じ姓を名乗ることになっています。伝統的には結婚する際に女性が男性の姓に変えてきました。そして生まれて来る子どもは夫婦が選んだ姓と名前を1つ持ちます。日本人の名前は名字、名前の順に言います(例: たけだ ひとし、やまだ ゆうぞう)。職場や学校など公の場面では名字に「さん」をつけて相手を呼びます(例: たけださん、やまださん)。しかし、外国人を呼ぶ場合は、西洋の習慣に合わせて名前、名字の順で言うのが一般的です(例: マリア・フェルナンデス、ホセ・ガルシア)。また、公の場面でも名字ではなく、名前に「さん」をつけて呼ぶことを好む傾向があります(例: マリアさん、ホセさん)。

3. 名刺

日本では自己紹介をしたときに名刺交換をする習慣があります。もとは仕事の間だけで行われていたものですが、最近は大学生も自分の連絡先を書いた名刺を持ち歩くなど、とても身近なものになりました。名刺交換は会合やミーティングの始めに行われます。これはどこ

の誰と話しているのかをわかりやすくするためです。また、名刺交換を先にすることによって、相手の名前が思い出せないために話づらい、といったシチュエーションを避けることができます。名刺交換をするときは、相手に向けた名刺に両手を添え、軽なお辞儀と自己紹介をしながら差し出します。尚、受け取った名刺は相手の個人情報載っているものですから、大切に扱わなければなりません。打ち合わせの間は机の上に並べ、粗末に扱ったり、箱に閉まったりしないようにしましょう。

4. 日本語のフィラー

フィラーは会話をスムーズに続けるのに便利なツールです。日本語で相手の注意を引く時には「あのう、」といいます。

・あのう、キムさんは せんせいですか。 Anoo, Kimu-san wa sensee desu ka. Umm, Sra. Kim, ¿eres profesora?

また「あのう、」は言葉に詰まった時にも使えます。

・キムさんは、あのう、フランス語が できますか。 Kimu-san wa, anoo, nihongo ga dekimasu ka. Sra. Kim, umm, ¿sabes francés?

相手が言ったことをとっさに聞き返すには「えっ？」をつかいます。

・A: さとうです。 Satoo desu. Soy Satoo.

B: えっ? ¿E? ¿Eh? (¿Cómo?)

A: 「さ、と、う」です。 Sa-to-o desu. Soy Satoo.

5. いろいろな「そうですか。」

「そうですか」はいろいろな場面で使われます。まず、相手が自分に語ったことがおもしろかったり、驚きだったりしたときにつかいます。

・A: わたしは エンジニアです。 Watashi wa enjinia desu. Yo soy ingeniero.

B: そうですか。 Soodesu ka. ¡No me digas!

驚きを表すのに、「そうですか、」の代わりに「すごいですね、」を使うこともよくあります。

・A: わたしは エンジニア です。 Watashi wa enjinia desu. Yo soy ingeniero.

B: すごいですね。 Sugoidesu ne. ¡Qué impresionante!

また、「そうですか、」は相手が言ったことを単に「理解した」という意味でも使います。

・A: わたしは エンジニアじゃないです。 Watashi wa enjiniajanai desu. Yo no soy ingeniero.

B: そうですか。 Soodesu ka. Vale.

同じ状況において、スペイン語で特に何も言わないこともあります。

・A: わたしは こうむいんです。 Watashi wa koomuin desu. Yo soy funcionario.

B: そうですか。 わたしも こうむいんです。 Soodesu ka. Watashi mo koomuin desu. (---) Yo también soy funcionario.

6. べんきょうちゅうです

何かをしている途中であることを表すには、その活動の言葉のあとに「ちゅう」をつけます。

・べんきょうちゅうです。 Benkyoochuu desu. Estoy estudiando.

・しごとちゅうです。 Shigotochuu desu. Estoy trabajando.

7. すこし

「すこし」は程度を表す副詞で動詞の前に来ます。他によく使われる程度の副詞には「けっこう」や「よく」があります。

・はい、すこし できます。 Hai, sukoshi dekimasu. Sí, sé un poco.

8. おなまえ、おしごと

日本語では、聞き手に属するものを表すときに敬意をこめて「お」を語頭に付けます。

・おなまえ、おしごと、おくに

また、単に丁寧な言い方としても「お」を付けます。

・おかね、おちゃ、おすし

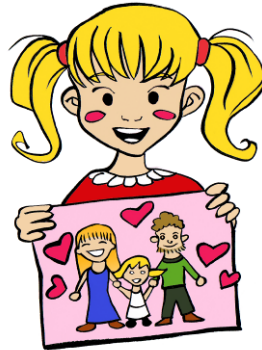
また、語源によって(主に中国語からの単語)は「お」の代わりに「ご」が付くことがあります。

・ごしゅじん、ごかぞく

だい4か かぞくは 3にんです

Kazoku wa san-nin desu

わたしの かぞくは 3にんです。
Watashi no kazoku wa san-nin desu.



ちちと ははと わたしです。
Chichi to haha to watashi desu.

形	使い方
<p>・かぞくは ちちと ははと わたしです。 Kazoku wa chichi to haha to watashi desu.</p> <p>・あねは おおさかに すんでいます。 Ane wa Oosaka ni sunde imasu.</p> <p>・あにの こどもは 4さいです。 Ani no kodomo wa yon-sai desu.</p>	<p>・自分の家族構成を言います。</p> <p>・住んでいる場所を言います。</p> <p>・家族の中の関係を言います。</p>

1. かぞくは ちちと ははと わたしです。 Mi familia somos mi padre, mi madre y yo.

「と」は接続助詞で2つの名詞の間をつなげるときに使います。スペイン語の y と似ていますが、「と」は名詞をつなげる場合にしか使えず、たとえば文をつなげるときには使えません。

・かぞくは ちちと ははと わたしです。 Kazoku wa chichi to haha to watashi desu. **Mi familia somos mi padre, mi madre y yo.**

2. あねは おおさかに すんでいます。 Mi hermana mayor vive en Osaka.

丁寧語で vivir の現在形は「すみます」ですが、この動詞は「現在どこかに住んでいる」、という意味で使う場合には「すんでいます」で使います。住んでいる場所のあとには「に」が付きます。

・あねは おおさかに すんでいます。 Ane wa Oosaka ni sunde imasu. **Mi hermana mayor vive en Osaka.**

3. かぞくは さんにんです。 En mi familia somos tres personas.

数字とそれに続く「にん」は人数を表します。このような接尾辞は助数詞と呼ばれ、日本語では量や時間を表すときに必ず使います(『ごいちょう』 p.81 参照)。「にん」の場合、1と2は例外で「ひとり」「ふたり」と言います。また、疑問文は数がほしいところに「なん」を挿入して、文末に助詞の「か」をつけます。

・かぞくは さん**にん** です。 Kazoku wa san-nin desu. **En mi familia somos tres personas.**

・かぞくは **なん**にん ですか。 Kazoku wa nannin desu ka. **¿Cuántas personas son en la familia?**

4. あにの こども el hijo de mi hermano mayor

「の」はそれに先行する名詞と後続する名詞の間に所有や所属の関係があることを示します。日本語の場合は2つ目の名詞が1つ目の名詞に属していることを表します。

・あにの こども ani no kodomo **el hijo de mi hermano mayor**

5. あにの こどもは 4さいです。 El hijo de mi hermano mayor tiene 4 años.

「さい」は年齢を表すのに使います。「20」は例外で「はたち」といいます。

・あにの こどもは 4さい です。 Ani no kodomo wa yon-sai desu. El hijo de mi hermano mayor tiene 4 años.

・わたしは はたち です。 Watashi wa hatachi desu. Tengo veinte años.

また、1、8、10のときは音変化が起こります。

・いっさい、じゅういっさい、にじゅういっさい、… issai, juu-issai, nijuu-issai 1año, 11años, 21años, etc.

・はっさい、じゅうはっさい、にじゅうはっさい、… hassai, juu-hassai, nijuu-hassai 8años, 18años, 28años, etc.

・じゅっさい、さんじゅっさい、よんじゅっさい、… jussai, san-jussai, yon-jussai 10años, 30años, 40años, etc.

疑問文のときは知りたい数のところに「なん」を入れて、文末に助詞の「か」を加えます。また、「なんさい」のかわりに「いくつ」を使うこともできます。2つの言い方に違いはありません。年上の人やよく知らない人の話をするときには敬意を表す接頭辞「お」を付けて「おいくつ」といいます。

・なんさい ですか。 Nan-sai desu ka. ¿Cuántos años tiene?

・おいくつ ですか。 Oikutsu desu ka. ¿Cuántos años tiene?

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 家族のメンバーの呼び方

日本語では自分の家族のことを誰かに話すときの家族のメンバーの呼び方と、他人の家族について話すときの呼び方が異なります。また、自分の家族の呼び方はすでに「私の」という意味が含まれていますから、mi padre という場合は「父」だけで十分で、「私の父」とは言う必要はありません。また、誰かのお父さん、例えば聞き手の父親のことを指すときは、「あなたのお父さん」と言います。

2. より広い「家族」

親の兄弟のことは「おじ／おじさん」「おば／おばさん」、その子どものことは男女に関係なく「いとこ」と言います。また、結婚を通じて近い親戚になった人には「義理の」をつけます（義理の母、義理の父、義理の兄、義理の妹、など）。そのほか、付き合っている相手のことは彼／ボーイフレンド、彼女／ガールフレンド、パートナーなどと言います。また再婚した相手のときは「2番目の」をよく使います（2番目の奥さん、2番目の旦那さん）。

3. 年齢を聞いてもよい？

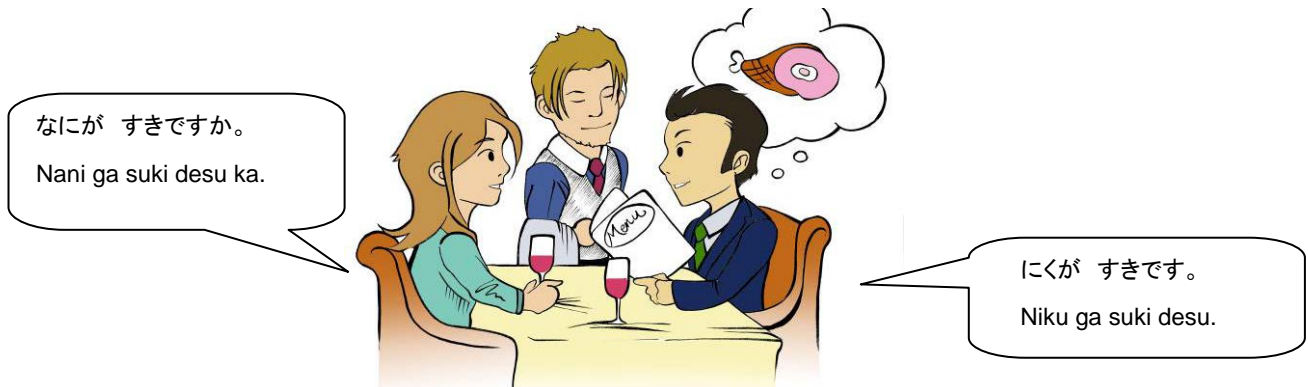
誰でも年を聞かれるのは嫌なことですが、これは日本人、特に日本人女性にとっても同じです。写真などで他人の年齢について聞くのはいいですが、聞き手に直接聞く場合は注意が必要です。

4. 仕事がなかったら…。

今の時代、何らかの事情で仕事をしていないこともあります。そんなときに便利な表現は、「今、仕事をさがしています。」、または、「就活中」(「就職活動中」の略)です。「無職」という言葉は普段から仕事をしていない状態のことを言います。

だい5か なにが すきですか

Nani ga suki desu ka



形	
・にくが すきです。	Niku ga suki desu.
・やさいは すきじゃないです。	Yasai wa sukijanai desu.
・あさごはんを たべます。	Asagohan o tabemasu.
・コーヒーを よく のみます。	Koohii o yoku nomimasu.

使い方
・好きな食べ物がなにか話します。
・好きじゃない食べ物が何か話します。
・なにを食べるか話します。
・どのくらいの頻度で飲むか話します。

1. にくが すきです。やさいは すきじゃないです。 Me gusta la carne. No me gustan las verduras.

日本語で、何かが好きだということを表す時には、「好きです」を使います。助詞の「が」は何が好きかという対象を表します。「好きです」は「な形容詞」です。日本語には「な形容詞」と「い形容詞」という2種類の形容詞があり、それぞれ述部の活用が異なります。「な形容詞」文は名詞文と同じように、肯定形は「です」否定形は「じゃないです」です。否定形の時は、助詞は「は」になります。肯定文に「か」をつけると、疑問文になります。

- ・にくが すきです。 Niku **ga** suki desu. Me gusta la carne.
- ・さかなは すきじゃないです。 Sakana **wa** sukijanai desu. No me gusta el pescado.
- ・にくが すきですか。 Niku ga suki desu **ka**. ¿Te gusta la carne?
- ・なにが すきですか。 Nani ga suki desu **ka**. ¿Qué te gusta?

① 助詞 は

誰が好きなのか、表したい時は、「は」をつけます。「は」は「～について」という意味で、文の主語やトピックを表します。

- ・わたしは にくが すきです。 Watashi **wa** niku ga suki desu. A mí, me gusta la carne.

「食べ物について」「飲み物について」など、対象の範囲を限定して話したい時も「は」を使います。

- ・たべもの **は** なにが すきですか。 Tabemono **wa** nani ga suki desu ka. ¿De comida, qué te gusta?

同様に、会話の相手や対象を限定して質問する時も、「は」を使います。その場合、文の続きを省略し、「は」の部分を上昇イントネーションで発音することで、質問だということを表します。

- ・わたしは にくが すきです。Bさん**は**? Watashi wa niku ga suki desu. B-san **wa**? Me gusta la carne. ¿Y a ti, sr.B?

- ・A:わたしは にくが すきです。 Watashi wa niku ga suki desu. A mí me gusta la carne.

- B:さかな**は**? Sakana **wa**? ¿Y el pescado?

② 助詞 も

「～も同様に」と言いたい時は、対象の「が」や主語の「は」が、「も」になります。(L2 3.参照)

・にくが すきです。さかなも すきです。 Niku ga sukidesu. Sakana **mo** sukidesu. **Me gusta la carne. Me gusta el pescado también.**

・A: わたしは にくが すきです。Bさんは? Watashi wa niku ga suki desu. B-san wa? **Me gusta la carne. ¿Y a ti, sr.B?**

B: 「わたしも にくが すきです。」 Watashi **mo** niku ga suki desu. **A mí también me gusta la carne.**

③ 助詞 と

「AとB」のように、二つ以上の名詞を並べる時、「と」を使います。文と文をつなぐ時には「と」を使うことはできません。(L4 1. 参照)

・わたしは にく **と** さかな が すきです。 Watashi wa niku **to** sakana ga suki desu. **Me gusta la carne y el pescado.**

2. あさごはん を たべます。 Tomo el desayuno.

日本語で何を食べるか、飲むかなど、動詞の直接目的語には助詞の「を」を使います。動詞の肯定形は「～ます」、否定形は「～ません」です。否定形の時は、助詞は「は」になります。肯定文に「か」をつけると、疑問文になります。

・パンを たべます。 Pan **o** tabemasu. **Como pan.**

・さかなは たべません。 Sakana **wa** tabemasen. **No como pescado.**

・あさごはんを たべますか。 Asagohan **o** tabemasu **ka**. **¿Tomas el desayuno?**

・なにを たべますか。 Nani **o** tabemasu **ka**. **¿Qué comes?**

日本語では、食べ物や飲み物を食べたり飲んだりするか希望を確認し、勧める表現として、「～たべますか。／～のみますか。」を使う場合もあります。この場合、助詞の「を」は省略されることが多いです。

・コーヒー、のみますか。 Khoohii, **nomimasu ka**. **¿Quieres tomar café?**

3. コーヒー を よく のみます。 Bebo café a menudo.

動詞の頻度を表すには、「いつも」や「よく」、「あまり」を使います。肯定形は「よく～ます」、否定形は「あまり～ません」です。「あまり」は常に否定形といっしょに使われます。頻度を聞くときは、「よく～ますか?」になります。

・いつも あさごはんを たべます。 Itsumo asagohan **o** tabemasu. **Siempre desayuno.**

・コーヒー を よく のみます。 Kooonii **o** yoku nomimasu. **Tomo café a menudo.**

・コーヒー は あまり のみません。 Kooonii wa **amari** nomimasen. **No tomo café muy a menudo.**

・あさごはん を よく たべますか。 Asagohan **o** yoku tabemasu **ka**. **¿Tomas el desayuno a menudo?**

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. たべます、のみます

日本語とスペイン語の「たべます」「のみます」の使い方は少し違うようです。日本では「みそしる」など汁状のものは「のみます」を使います。でも、汁状のものでも、麺が入ったり、シチュー、カレーなど具が多くなってくると、「たべます」を使います。ですから、スペイン料理で言うと、具の少ない「コンソメ」は「のみます」、具の多い「コシード」は「たべます」になるでしょう。

それから、スペイン語では食べ物、飲み物共通で使うことば tomar がありますが、日本語ではどちらも含む該当表現がありません。そのため、「朝ごはんはパンとコーヒーをとります。」と言いたい時、「たべます」と「のみます」のどちらを使えばいいのか迷うかもしれません。

日本語では食べ物と飲み物を別々に言うことが多いですが、朝食全体について言う場合は「たべます」を使ってもいいでしょう。

2. ごはん、パン

ごはん: 日本語では、「ごはん」は米を炊いたものという意味と、食事という意味と二つあります。「ごはん」は昔から日本人の主食だったため、「ごはん」=食事の意味になったのです。現代の日本では、一日三食が基本なので、「朝ごはん」「昼ごはん」「晩ごはん」と食事の時間帯に「ごはん」をつけた形で、desayuno, comida, cena を表します。

パン: パンはもともと日本にはありませんでした。16世紀にポルトガルから伝来したので、ポルトガル語の「パン」という言葉が使われているのです。その後パンは日本独自で発展していて、あんを入れた「アンパン」、カレーを入れた「カレーパン」など、甘いパンや惣菜パンなどさまざまなパンがあります。日本語では「パン」は総称として使われるため、食パン、クロワッサン、フランスパン、サンドイッチなども、全て「パン」に含まれます。

3. 日本の朝ごはん

現代日本では朝ごはらは、ごはん食とパン食どちらもありますが、パン食が上回っているとも言われています。もちろん、昨日はごはん、今日はパンというミックス派の家庭も多いようです。

ごはん食: ごはん、味噌汁、魚、卵を焼いたものか、納豆、豆腐など朝からタンパク質も取るのが一般的です。飲み物はお茶。朝、漬物やサラダなどの野菜や果物もよく食べます。

パン食: パン、スープ、卵料理やソーセージ、ハム、チーズ、サラダ、果物、ヨーグルトなどをよく食べます。飲み物はコーヒー、ジュースなど。

朝から魚や野菜を食べるといのは、スペイン人にとっては不思議かもしれません。これは、日本では「一汁一菜」(主食のごはん、汁物一つ、主菜(魚など)、漬物の食事構成)という従来からの食事の基本構成が今の朝食にも続いているからなのです。

4. コーヒー、のみますか？

スペイン語では食べ物や飲み物を飲むかどうか意向を聞くときに、¿Quieres tomar café?のように Querer をよく使いますが、日本語の場合、「コーヒー、のみますか」だけで希望を聞くことができます(希望の表現はL18参照)。ただし、お店の人の場合は、客に対しての敬意を表すため、「のみます、たべます」の尊敬語である「めしあがります」を使います。

5. いただきます、ごちそうさま

日本では、食事の前と後に、「いただきます」「ごちそうさま」という挨拶をします。これは、いただく肉、魚、野菜の命、農業や漁業従事者、料理を作ってくれた人のおかげで食べ物をいただけることに感謝の気持ちを込めるものです。日本人の多くにとってはこの挨拶は習慣になっていて、両手を合わせて軽くお辞儀をしながら言う人もいます。

「いただきます」は受けるという意味で、食事以外でも、食べ物や飲み物を受け取る時に使うことができます。例えば、訪問先でお茶を注いでくれた時、職場で誰かがおみやげのお菓子をくれた時など。

「ごちそうさま」は、その食事がご馳走であったということを表すので、レストランや食堂を出る時、お店の人に感謝の気持ちを伝えるために言うこともできます。また、誰かが食事を奢ってくれた時にも、支払ってくれる時などには、「ごちそうさまでした」と感謝の意を伝えます。

だい6か どこで たべますか

Doko de tabemasu ka



形	
・すきな りょうりは カレーです。	Sukina ryoori wa karee desu.
・ラーメンやさんで ラーメンを たべます。	Raamen'ya-san de raamen o tabemasu.
・あのみせは おいしいです。	Ano mise wa oishii desu.

使い方
・すきなりょうりがなにか話します。
・どこで何を食べるか話します。
・どんな店か形容します。

1. すきな りょうりは カレーです。 Me gusta el curry.

日本語の「すき」「きれい」は「な形容詞」です。「すきなりょうり」のように、名詞を修飾する時に「な」がつく形容詞を「な形容詞」といい、「おいしいレストラン」のように「い」で名詞を修飾する形容詞を「い形容詞」といいます(項目3. L7参照)。「すきなりょうり」「きれいなのみもの」のように、日本語では形容詞は名詞の前に来ます。文としては、名詞文ですから、「(主語)は(名詞)です。」になります。質問する時は「すきな～は何ですか。」となります。答えは主語を省略して、「(名詞)です。」と答えてもいいし、「～がすきです。」と答えることもできます。「いちばん」をつけると、「最も」という意味になります。

- ・すきな りょうりは カレーです。 Sukina ryoori wa karee desu. Me gusta el curry.
- ・きれいな のみものは ビールです。 Kiraina romimono wa biiru desu. No me gusta la cerveza.
- ・A: すきな りょうりは なんですか。 Sukina ryoori wa nan desu ka. ¿Qué tipo de plato te gusta ?
- B: (すきな りょうりは) カレーです。 (Sukina ryoori wa) Karee desu. (Lo que me gusta) es el curry.
- B: カレーが いちばん すきです。 Karee ga ichiban suki desu. Lo que más me gusta es el curry.

2. ラーメンやさんで ラーメンを たべます。 Voy a comer ramen en un restaurante de ramen.

① 助詞 で

助詞の「で」は動作動詞の場所を示します。「ラーメンやさんでたべます」は食べるという動作が行われる場所がラーメンやさんだということを表しています。「きょう どこで ひるごはんを たべますか。」のように、語順は普通「いつ、どこで、なにを、どうする」の順になります。また、動詞の「～ます」は現在と未来のどちらも表すので、これからする動作について話したり、質問したりするのもに使われます。

- ・ラーメンやさんで ラーメンを たべます。 Raamen'ya-san de raamen o tabemasu. Voy a comer ramen en un restaurante de ramen.
- ・きょう どこで ひるごはんを たべますか。 Kyoo doko de hirugohan o tabemasu ka. ¿Dónde vas a almorzar hoy?

3. あのみせは おいしいです。 *Aquel restaurante es bueno.*

「おいしい」「やすい」など「い」で終わる形容詞を「い形容詞」といいます。「い形容詞」文は基本的に「(主語)は(形容詞)です。」という文型になります。「い形容詞」の肯定形は「～いです」、否定形は「～くないです」です。「まずい」など否定的な形容詞のかわりに、「あまりおいしくありません」など肯定的な表現の否定形を使うことで、表現を和らげることもあります。

- ・あのみせは **おいしいです**。 *Ano mise wa oishii desu.* *Aquel restaurante es bueno.*
- ・あのみせは **やすすくないです**。 *Ano mise wa yasukunai desu.* *Aquel restaurante no es barato.*

① 助詞 よ

助詞の「よ」は話者が知っていて、聞き手が知らない情報を伝える時に使われます。たとえば、「おいしいですよ」は、聞き手が行ったことのないレストランについて、その店はおいしいという情報を伝えています。

- ・ラーメンやさんです。おいしいですよ。 *Raamen'ya-san desu. oishii desu yo.* *Es un restaurante de ramen. Es bueno(te digo).*
- 「(動詞)ましょう」は、いっしょにしようという意味で、提案する時に使います。「そうしましょう。」は提案に同意し、あなたの言ったようにしようという意味です。
- ・あのみせで **たべましょう**。 *Ano mise de tabemashoo.* *Vamos a comer en aquel restaurante.*
 - ・じゃあ、**そう しましょう**。 *Jaa, soo shimashoo.* *Vale, me parece bien (vamos a hacerlo).*

4. ハンバーガーふたつください。 *Deme dos hamburguesas, por favor.*

食べ物や飲み物の注文などの個数は「ひとつ、ふたつ、みっつ」という助数詞で数えます(語彙帳 p.79 助数詞表参照)。物のあとに助数詞をつけます。「ください」は「コーヒーひとつください」のように物を注文する時に使います。名詞の場合、「ください」のかわりに「おねがいます」を使うこともできます。二種類以上のものを注文する時は助詞の「と」を使います。「と」は名詞を並べる時に使う助詞です(L5 参照)。なお、「ください」は「きいてください」など動詞の「て形」につくと、依頼や指示の表現になります(L2 参照)。

- ・**ハンバーガー ふたつ** ください。 *Hanbaagaa futatsu kudasai.* *Deme dos hamburguesas, por favor.*
- ・**フライドポテト ひとつ と コーヒー ふたつ** ください。 *Furaidopoeto hitotsu to koohii futatsu kudasai.*
Deme una de patatas y dos cafés, por favor.

スペイン語話者のための！ ことばと文化コラム

1. 日本のファーストフード

日本の料理といえば、やはり「すし」が有名ですね。でも、伝統的な日本の料亭やすしや、日本の Bar にあたる居酒屋などでは、メニューは日本語だけで書かれていることが多いもの。やはり、外国人にとって気軽に入りやすいのはファーストフード店です。日本の会社の昼休みは普通 1 時間(午後 12 時～1 時)。昼ごはんはお弁当やファーストフードなどで、速くすませるのが一般的なもので、いろいろなファーストフード店があります。もちろん、ハンバーガーやピザなど世界共通のファーストフード店もありますが、日本ならではのファーストフードもあります。このような店では、お茶やお水は無料サービスです。

カレーライス: カレーはもともとインドから来ましたが、日本のカレーライスは日本独自で発達した料理です。野菜や肉を煮込んだトロミのあるカレースープを粘り気のある日本のごはんの上にかけて食べます。子ども達にも人気ナンバーワンの料理です。カレー専門店では、カツなどのトッピングや辛さが選べます。

麺類: 「そば」「うどん」「ラーメン」などが有名です。それぞれの専門店があります。日本人は麺類はズルズルっと音を立てて食べます。

ラーメン: 中華そばとも言われ、中国から来た黄色い小麦麺でできています。スープは店ごとにこだわりがあり、豚骨、しょうゆ、みそ、塩などいろいろな味が楽しめます。行列ができる有名店もあります。

そば: そば粉からつくられた灰色がかった麺です。温かいそばと冷たいそばがあります。温かいそばは魚のだしのスープに入っています。冷たいそばは特に夏場に人気があり、冷水で洗ってザルで水を切って出されることから「ざるそば」とも言われます。しょうゆとみりんと魚がベースの濃い目のだしをそばちょこに入れ、わさびを溶いて、麺を少しつけながら食べます。

うどん: 小麦粉でできた少し太めの麺です。温かいうどんと冷たいうどんがあります。西日本ではだしベースの薄めのスープ、東日本ではしょうゆベースの濃い目のスープが人気です。きつねうどん(油揚げ)、肉うどん(牛肉)、天ぶらうどん(天ぶら)など、トッピングがいろいろあります。

丼物: 丼(大きな茶碗)に入ったごはんの上に具が載せてあるものを丼物といいます。「カツ丼(豚カツを卵で綴じたもの)」「親子丼(鶏肉の卵綴じ)」「天丼(天ぶら)」「牛丼(牛肉)」「鰻丼(鰻の蒲焼)」など甘辛いタレがごはんによく合います。また、「海鮮丼(刺身の盛り合わせ)」などもあります。

すし: すしは江戸時代にできたファーストフード。回転寿司なら気軽に試せます。回転寿司は、1皿 100円~300円など、皿の色によって値段が決まっています。テーブルについたら、回ってくる寿司のなかから食べたいものを取るだけ。あとはお店の人が皿の数を数えて清算してくれます。

2. 食べ物、店の丁寧な呼び方

・おすし

丁寧と言う場合は料理名に「お」をつける場合もあります。でも、基本的に外来語には「お」はつけません。特に女性は「お」をつけることが多いですが、男性は目上の人に話す場面以外では「お」をつけないで言う人も多いです。

例: ○ おすし おそば おべんとう おさけ × おコーヒー おラーメン おハンバーガー おワイン

・ラーメンや

料理の名前に「や」をつけると、そのレストランの呼び方になる、便利な言葉です。

例: ラーメン → ラーメンや そば → そばや べんとう → べんとうや

・おすし屋さん

また、丁寧さや親しみをこめて店名にも「お」や「さん」をつけることもあります。

例: おすし屋さん カレー屋さん

3. ファーストフード店でよく聞くフレーズ

日本のサービス業の店員はとても丁寧な言葉遣いをします。敬語と呼ばれる表現を使うので、初心者にはわかりにくいかもしれませんが。でも、親切なので、大丈夫です。ファーストフード店でよく耳にする表現には以下のようなものがあります。

いらっしゃいませ

ごちゅうもんはおきまりですか。

おのみものはいかがですか。

こちらでおめしあがりですか。

おたばこはおすいになりますか。

どうもありがとうございました。

だい7か へやが 3つ あります

Heya ga mittsu arimasu



形	
・いえに エアコンが あります。	le ni eakon ga arimasu.
・いえに ねこが います。	le ni neko ga imasu.
・ベッドが 2つ あります。	Beddo ga futatsu arimasu.
・わたしのいえは せまいです。	Watashi no ie wa semai desu.

使い方
・家に何があるか言います。
・家に何が(誰が)いるか言います。
・部屋に何がいくつあるか言います。
・どんな家にすんでいるか言います。

1. いえに エアコンが あります。 Hay aire acondicionado en la casa.

いえに ねこが います。 Hay un gato en la casa.

もの(無生物、植物)の存在を表す時には、動詞の「あります」を使います。人や動物(生物)の存在を表す時には、動詞の「います」を使います。場所・位置のうしろに助詞の「に」が来ます。そして、主語が「が」をとります。

この構文は、話し手がものや人を見つけて、それが「どこにあるか/どこにいるか」、聞き手に新しい情報を伝える時にと使われます。また、否定形の時は、主語の後の助詞は「は」になります。疑問文には、あるか、ないかを聞く場合と、「なにが」あるのか、「だれが」いるのかを聞く場合とがあります。

- ・いえに エアコンが あります。 le ni eakon ga arimasu. Hay aire acondicionado en la casa.
- ・いえに ねこが います。 le ni neko ga imasu. Hay un gato en la casa.
- ・へやに テレビは ありません。 Heya ni terebi wa arimasen. En la habitación no hay televisión.
- ・アパートに いぬは いません。 Apaato ni inu wa imasen. No hay perro en el apartamento.
- ・いえに テレビが ありますか。 le ni terebi ga arimasu ka. ¿Hay televisión en la casa?
- ・いえに いぬが いますか。 le ni inu ga imasuka. ¿Hay perro en la casa?
- ・へやに なにが ありますか。 Heya ni nani ga imasu ka. ¿Qué hay en la habitación?
- ・へやに だれが いますか。 Heya ni dare ga imasu ka. ¿Quién hay en la habitación?

2. ベッドが 2つ あります。 Hay dos camas.

ものや人がどのくらいあるか、いるかを表すとき、日本語では、次のような構文をとることが多いです。

「(場所・位置)に (もの・人)が (量・数) あります」「(場所・位置)に (もの・人)が (量・数) います」

- ・へやに ベッドが 2つ あります。 Heya ni beddo ga futatsu arimasu. En la habitación hay dos camas.

・クラスに がくせいが 15にん います。 Kurasu ni gakusee ga juugo-nin imasu. En la clase hay 15 estudiantes.

疑問文で、ものの数を聞く場合は、「いくつ」を、人の数を聞く場合は、「なんにん」を使います。(L4,L6、『ごいちょう』p.81 参照)

ペットなど動物の数を数える時は、「ひき」を使います。

・A: いえに へやが いくつ ありますか。 Ie ni heya ga ikutsu arimasu ka. ¿Cuántas habitaciones hay en la casa?

B: 6つ あります。 Muttsu arimasu. Hay seis.

・A: クラスに がくせいが なんにん いますか。 Kurasu ni gakusee ga nannin imasu ka. ¿Cuántos estudiantes hay en la clase?

B: 20にん います。 Nijuu-nin imasu. Hay veinte.

・A: ペットが いますか。 Petto ga imasu ka. ¿Tienes mascota?

B: はい、いぬが 2ひき います。 Hai, inu ga ni-hiki imasu. Sí, tengo dos perros.

① 助詞 で

助詞の「で」には、いろいろな用法がありますが、その一つとして、まとまりを表す時に使います。その場合は、「で」の前に、量、数を表す名詞が来ます。同じような助詞「と」は、「かぞくと」「ともだちと」など、動作と一緒にを行う相手を示します。

・みんなで ごはんを たべます。 Minna de gohan o tabemasu. Comemos todos juntos.

3. わたしの いえは せまいです。 Mi casa es pequeña.

日本語の形容詞には「い形容詞」と「な形容詞」があります。「い形容詞」は日本語の本来の形容詞に、「な形容詞」は主に漢語や外来語に使います。ここでは、「い形容詞」だけ練習します。「い形容詞」の特徴は、「大きい」「明るい」「広い」など、語末が「い」で終わります。「い形容詞」では形容詞そのものが活用し、否定形の場合は、「～くない」になります。(L5,L6 参照)

Ej: おおきい OOKII

おおきいです。 OOKII DESU (presente afirmativo) おおきくないです。 OOKIKUNAI DESU. (presente negativo)

・わたしの いえは あたらしいです。 Watashi no ie wa atarashii desu. Mi casa es nueva.

・マリアさんの くるまは あたらしくないです。 Mariasan no kuruma wa atarashikunai desu. El coche de María no es nuevo.

・A: あなたの いえは おおきいですか。 Anata no ie wa ookii desu ka. ¿Tu casa es grande?

B: いいえ、おおきくないです。 Iie, ookikunai desu. No, no es grande.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 日本の住宅事情

日本の住宅は、昔から「ウサギ小屋」と揶揄され、欧米の住宅と比べると、小さいだけでなく、価格が高い上に、耐久年数が短いと悪い方に三拍子そろっています。また、欧米に比べると、中古住宅の市場が少なく、新築がほとんどです。その新築も耐久年数が平均 25, 6 年のため、20 年後、高いローンを払い終わった頃の住宅の価値はほぼただ同然になってしまうと言われてています。

アパート: 英語「アパートメント apartment」からなる和製英語。実際の建物は、内部を区切って、それぞれを独立した住居として賃貸する集合住宅です。マンションと比べると、規模が小さく、2階建ての建物が普通です。エレベーターが付いているものは稀で、ほとんどに外付けの階段が付いています。

マンション: 和製英語「マンション Mansion」から来ているが、英語では豪邸を意味するのに対して、日本語のマンションは、アパートよりも大規模な共同住宅を表す一般名称になっている。スペイン語では piso に相当する。

一戸建て:一戸建ては、個人住宅とも言い、集合住宅と区別しています。その形には、社会の変化に応じて流行もあり、和風住宅、洋風住宅と呼んだり、二世帯、三世帯住宅や、高齢者住宅、バリアフリー住宅など、高齢者社会を反映した呼び方もあります。

2. 日本の部屋番号

日本では平安時代から、「四」を「死」の連想から、忌み嫌う習慣があります。特に病院などでは、4のつく部屋番号をつけません。203号室のつぎは、205号室になります。また、部屋番号の読み方は、301号室なら、普通「さんまるいち」と読みます。「0」の読み方は「ゼロ」「れい」「まる」といろいろありますが、部屋番号の場合は、「まる」を使うのが一般的です。

だい8か いい へやですね

li heya desu ne



形
・にんぎょうは たなの うえです。 Ningyoo wa tana no ue desu.

使い方
・ものをどこかにおくのを手伝う時、また、頼む時に使います。

1. にんぎょうは たなの うえです。 La muñeca está encima del estante.

主語が話し手と聞き手の共通の話題(主題・トピック)になっている場合、その場所や位置を伝えるときは、次の構文を使います。また、「です」の代わりに、「にあります」「にいます」を使うこともできます。

「(無生物・植物)～は (場所・位置)～です・～に あります」「(人・動物)～は (場所・位置)～です・～に います」

- ・ほんは つくえの うえです。 Hon wa tsukue no ue desu. El libro está sobre la mesa.
- ・ほんは つくえの うえに あります。 Hon wa tsukue no ue ni arimasu. "
- ・いぬは いすの したです。 Inu wa isu no shita desu. El perro está debajo de la silla.
- ・いぬは いすの したに います。 Inu wa isu no shita ni imasu. "

2. トイレは どこですか。 ¿Dónde está el baño?

ものや人の場所をきく時は、疑問詞「どこ」を使います。答える時は、主語を省略することが多いです。

- ・A: トイレは どこですか。 Toire wa doko desu ka. ¿Dónde está el baño?
- B: しんしつ の まえです。 Shinshitsu no mae desu. Enfrente del dormitorio.

この場合の「どこですか」は、どこに置くかという疑問を表します。

- ・A: にんぎょうは どこですか。 Ningyoo wa doko desu ka. ¿Dónde pongo la muñeca?
- B: (にんぎょうは) たなの うえに おねがいます。(Ningyoo wa) Tana no ue ni onegaishimasu.
(Ponla) encima del estante, por favor.

答える時は、ものを置くところを指示し、そのあとに「お願いします」をつけます。「おねがいます」は、何かを人に頼む時に使う表現です。返答では主語を省くことができます。「主語(無生物・植物・人・動物)～は、(場所・位置)～に おねがいます。」

- ・A: ほんは どこですか。 Hon wa doko desuka. ¿Dónde pongo el libro?
- B: (ほんは) はこの なかに おねがいます。(Hon wa) hako no naka ni onegaishimasu. En el cajón por favor.

3. ここは わたしの へやです。Aquí está mi habitación.

「ここ/ そこ/ あそこ/ どこ」は場所を表すときに使います。「こちら/ そちら/ あちら/ どちら」は基本的に方向を表しますが、「ここ/ そこ/ あそこ/ どこ」の丁寧な形としても使われます。

・ここは わたしの いえです。 Koko wa watashi no ie desu. Aquí está mi casa.

・A: あのう、トイレは どこですか。 Anoo, toire wa doko desu ka. ¿Dónde está el baño?

B: あ、こちらに どうぞ。 A, kochira ni doozo. Por aquí, por favor.

4. ロシアの にんぎょう / フランスのとけい La muñeca rusa / El reloj francés

(国名)の(名詞)で、名詞の所属や生産地を表します。スペイン語とは語順が逆なので、注意が必要です。

・ロシアの にんぎょうは エジプトの しゃしんの したです。 Roshia no ningyoo wa ejipto no shashin no shita desu.

La muñeca rusa está debajo de la foto de Egipto.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 友だちの家に行く

日本人のうちに呼ばれたら、それ程高価なものでもなく、何か手土産(菓子、果物、花など)を持参した方がいいでしょう。お土産を渡すときは、「ほんの気持ですが…」と言います。

玄関 GENKAN: 家に入る前に、「ごめんください。」と声をかけます。「いらっしやい。どうぞ、あがってください。」と言われたら、「おじゃまします。」と言って、中に入ります。6 課で習った「いらっしやいませ」はお店やレストランなどで店員が使う言葉です。客を迎える時は、「いらっしやい」を使います。日本の家の玄関は少し高くなっていますので、たたきと言われるタイルのところで靴をぬいで、用意されているスリッパにはき替えます。ぬいだ靴は向きを反対にして、揃えておきます。

居間 IMA: 「こちらへどうぞ。」と案内される場所は、たいてい居間と言われるところです。「リビングルーム」とも言います。現在はソファのある西洋式の居間が多いと思います。「どうぞ」とお茶をすすめられたら、「ありがとうございます」か「すみません」と言ってから、いただきます。

トイレ TOIRE: 日本のトイレは普通、お風呂とは別にあります。たいていは洋式トイレですが、中には和式のトイレもあります。また、温水・温風の出るトイレもあるので、使い方がわからない場合は、聞いてから入った方がいいかもしれません。

風呂 FURO: お風呂ともいいます。日本のお風呂は、たいてい湯船にお湯を張ってから、家族全員が同じお湯に入るので、湯船につかる前に、浴槽の外で体や髪を洗ってから湯船であたたまります。

和室 WASHITSU: 和式の部屋は畳敷きです。入るときは、スリッパをぬいで入ります。座布団の上に正座して座りますが、つらいようなら、「足をくずしてもいいですか。」と聞いてから、楽な姿勢で座りましょう。

2. 間取りの種類

日本には独特の間取り表現があります。

1room: ベッドルームにキッチンが組み込まれたタイプで、部屋の大きさは、16 m²~20 m²が主流です。

1K: ベッドルームとキッチンが分かれています。

1DK: ベッドルーム一つとダイニングキッチンがあります。

2LDK : ベッドルーム二つとリビングルーム、それにキッチンが別になっています。部屋の大きさは 40 m²~60 m²が主流です。

L=living room (salón), D=dining room (comedor), K=kitchen (cocina)

また、部屋の広さを表す単位としては、次の三種類が使われます。

平方(へいほう)メートル: m²

坪(つぼ): 1 坪=3.3 m²=2 畳

畳(じょう): 1 畳=約 1.65 m²=0.5 坪 (畳マット 1 枚の大きさ)

3. 日本の住所

〒は郵便番号のことで、7けたの数字を書きます。日本の住所は、初めに都道府県、次に市町村と続きます。市の代わりに郡がくる場所もあります。そして、最後に何丁目何番地と記されます。日本の場合、通り名で表記されている場所は少なく、ほとんど区画の名前を住所に使うので、非常に分かりにくく、住所だけで家を探すのは難しい場合が多いです。

4. 表札

日本の家には、門や玄関に必ず表札があり、住人の名字が書かれています。名前が付いている場合もあります。一昔前までは、一家の家父長の名前だけを表札にしましたが、今は家族全員の名前を表札にする家が多いです。表札の素材は木・石・タイルなどで、字体やデザインもさまざまです。

だい9か なんじに おきますか

NANJI NI OKIMASU KA



形	
いま なんじですか。	Ima nanji desu ka.
・9じです。	Kuji desu.
・わたしは 7じに おきます。	Watashi wa. shichi-ji ni okimasu.

使い方
・時刻を尋ねます。
・時刻を言います。
・あることをする時刻を言います。一日の生活を話します。

1. いま なんじですか。 9じです。 ¿Ahora qué hora es? Son las nueve.

時刻は数字の後ろに「じ」をつけてあらわします。数字の「4」「7」「9」には言い方が二つずつありますが、時刻の言い方はそれぞれ一つです。24時間制で言う場合もありますが、日常生活では12時までを使うのがふつうです。(数字は『ごいちょう』p.80、時刻の言い方はp.78を参照)

4:00	よじ	yo-ji
7:00	しちじ	shichi-ji
9:00	くじ	ku-ji

テレビ、ラジオの放送や電話では「7じ」を「ななじ」と言うこともあります。「しちじ」と「いちじ」の音が似ているので間違いを避けるためです。

時刻を言うときには、「～じ」に動詞「です」をつけます。はっきりさせるために、今現在の時刻を言うときには文のはじめに「いま」をつけることもできます。また「～じ」の前に「ごぜん」「ごご」や「あさ(の)」「ひる(の)」「よる(の)」などを添えることもできます。時刻を尋ねるときは疑問詞「なんじ」を使います。

・(いま) 8じです。	(Ima) hachi-ji desu.	(Ahora) son las ocho.
・(ごぜん) 9じです。	(Gozen) ku-ji desu.	Son las nueve (de la mañana).
・(よる(の)) 10じです。	(Yoru (no)) juu-ji desu.	Son las diez (de la noche).
・なんじですか。	Nan-ji desu ka.	¿Qué hora es?

2. わたしは 7じに おきます。 Me levanto a las siete.

あることをする時刻を言うときには、その動作を表わす言葉の前に、時刻に助詞「に」をつけたものを置きます。質問するときには疑問詞「なんじ」に助詞「に」をつけたものを使います。「なんじ」の代わりに疑問詞「いつ」を使うこともできます。おおよその時刻を言うときには「に」ではなくて「ごろ」をつけます。

- ・わたしは 7じはんに おきます。 Watashi wa shichi-ji han ni okimasu. Me levanto a las siete.
- ・なんじに おきますか。 Nanji ni okimasu ka. ¿A qué hora te levantas?
- ・いつ おきますか。 Itsu okimasu ka. ¿A qué hora te levantas?
- ・8じごろ ばんごはんを たべます。 Hachi-ji goro ban-gohan o tabemasu. Ceno alrededor de las ocho.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 時刻の表現いろいろ

- ・分は数字の後に「ふん(ぶん)」をつけてあらわします。ほかの多くの助数詞と同じように、数字の最後の音節の音によって「ふん」と「ぶん」を使い分けます。tres y cinco は「さんじ ごぶん」、seis y diez は「ろくじ じゅっぶん」と言います。
- ・「10分」には「じっぶん」と「じゅっぶん」の二つの言い方があります。以前は「じっぶん」という言い方が規範的であるとされていて今でもニュース放送などで聞くこともあります。最近では「じゅっぶん」と言う言い方のほうが主流のようです。
- ・「～時30分」のことを「～時半」とも言います。「半」は「半分」の意味です。「～ y cuarto」にあたる言い方はありません。

2. 一日の区分：「ごぜん」「ごご」と「あさ」「ひる」「よる」

一日24時間を12時間ずつに分けて、夜中 medianoche の12時から真昼 mediodía の12時までが午前、真昼の12時から夜中の12時までが午後です。夜中の12時のことを「午前0時」、真昼の12時のことを「午後0時」とも言います。また一日は日の出から日没までの「ひる」と日没から日の出までの「よる」とにも分けられます。「ひるも よるも」というのは「一日中」という意味です。「ごぜん」「ごご」の代わりに時刻と組合わせて使う場合には、「ごぜん」の代わりに「あさ」、正午前後には「ひる」、暗くなってからは「よる」と言います。

3. 一日の生活

『かつどう』p.62 のはじめの例は、平均的な日本の会社員の一日の生活時間帯です。会社や役所の執務時間は朝9時頃から午後5時頃までです。スペインの生活と比べて特に目につく違いは昼食の時刻でしょう。会社や学校では昼の12時ごろから1時ごろまでに昼食のための昼休みがあります。レストランなどの飲食店もこの時間をはさんで11時ごろから2時半ごろまでを昼の営業時間としています。また夕食の時刻もスペインと比べて早めです。7時ごろから8時ごろの家庭が多いです。飲食店の営業時間は午後5時ごろから11時か11時半ごろまでが一般的です。日本では浴槽のお湯につかる入浴をする習慣が一般的です。夏は暑いのでシャワーだけで済ませる場合もあります。入浴には体を清潔に保つ、体を温めるという効果のほかに、一日の疲れを癒してリラックスする効果もあります。

p.70 の写真は、上は朝の8～9時ごろで、①小学生の集団登校(交通安全帽をかぶり、ランドセルを背負っている)、②鉄道駅の通勤ラッシュ、③お母さんが子供を自転車(防犯パトロールのパネルのついたママチャリ)で幼稚園に送っていく、下は夜8～9時ごろで、④スポーツジム、⑤飲み会、⑥⑦小学生の塾通い、です。大人も子どもも、仕事や学校の後に勉強や趣味の教室に通う人が多いです。

4. 動詞「します」

動詞「します」は「名詞＋を(助詞)＋します」の組み合わせで「hacer」「practicar」のように使います。

・しごとを します shigoto o shimasu [hacer un trabajo](#) → [trabajar](#)

・さんぽを します sanpo o shimasu [dar un paseo](#) → [pasear](#)

・べんきょうを します benkyoo o shimasu [hacer un estudio](#) → [estudiar](#)

動作や活動をあらわす名詞は、「名詞＋します」で一語の動詞となるものがあります。

・しごとします shigoto shimasu [trabajar](#)

・さんぽします sanpo shimasu [pasear](#)

・べんきょうします benkyoo shimasu [estudiar](#)

また「します」は、スポーツをする「jugar al + (deporte)」ということを使いあらわすときにも使います。

テニスをします tenisu o shimasu [jugar al tenis](#).

だい10か いつが いいですか

ITSU GA II DESU KA



形	使い方
<ul style="list-style-type: none"> ・かいしゃは 9じから 5じまでです。 Kaisha wa ku-ji kara go-ji made desu. ・7じかん しごとを します。 Shichi-jikan shigoto o shimasu. ・きんようびが いいです。 Kin'yoobi ga ii desu. 	<ul style="list-style-type: none"> ・始まりと終わりの時刻を言います。 ・時間(期間)を言います。 ・いつが都合が良いか言います。

1. かいしゃは 9じから 5じまでです。 En mi empresa estoy de 9 a 5.

開始の時間を言うときには、時間の後ろに助詞「から」をつけます。終了の時間を言うときには、助詞「まで」をつけます。始まる時刻は「なんじから」、終わる時刻は「なんじまで」を使って尋ねます。「～から」と「～まで」の両方を一緒に一つの文に使ってもいいし、どちらか一方だけでもいいです。「～から」、「～まで」は時刻だけではなく曜日や日にち、年などいろいろな期間の始点と終点を表わすのに使えます。疑問詞「いつ」を使うと、いろいろな期間について質問ができます。

- ・かいしゃは 9じからです。 Kaisha wa ku-ji **kara** desu. Trabajo desde las nueve.
- ・デパートは 8じまでです。 Depaato wa hachi-ji **made** desu. Los grandes almacenes están (abiertos) hasta las ocho.
- ・クラスは なんじから なんじまでですか。 Kurasu wa **nanji kara nanji made** desu ka. ¿De qué hora a qué hora es la clase?
- ・7じから 9じまでです。 Shichi-ji **kara** ku-ji **made** desu. Es de siete a nueve.
- ・げつようびから きんようびまで かいしゃに いきます。 Getsuyoobi **kara** kin'yoobi **made** kaisha ni ikimasu. Trabajo de lunes a viernes.
- ・いつからですか。 Itsu **kara** desu ka. ¿Desde cuándo?

2. 7じかん しごとを します。 Trabajo durante siete horas.

時間(期間, duración)は「(時間数)+じかん」という言い方であらわします。半時間の「はん」は「じかん」の後に続けます。おおよその時間を言うときには「～じかん」のうしろに「ぐらい」を付け加えます。時間(期間, duración)を尋ねるときには「なんじかん」または「なんじかんぐらい」を使って尋ねます。

- ・7じかん しごとを します。 Shichi-**jikan** shigoto o shimasu. Trabajo durante siete horas.
- ・1じかんはん べんきょうします。 Ichi-**jikan han** benkyoo shimasu. Estudio durante una hora y media.
- ・2じかんぐらい テレビを みます。 Ni-**jikan gurai** terebi o mimasu. Veo la televisión durante 2 horas aproximadamente.
- ・なんじかん テニスを しますか。 Nanji-**kan** tenisu o shimasu ka. ¿Cuántas horas juegas al tenis?

3. きんようびが いいです。 Prefiero el viernes.

都合の良い日程を言うときには「(時)+が(助詞)+いいです」の形であらわします。「いいです」はい形容詞で「bueno」を意味します。

・きんようびが いいです。 Kin'yoobi ga ii desu. Prefiero el viernes / El viernes me viene bien.

いつが都合が良いかを尋ねるときには疑問詞「いつ」「なんようび」「なんじ」などを使います。

・なんようびが いいですか。 Nan'yoobi ga ii desu ka. ¿Qué día de la semana te viene bien?

何の日程かテーマを示すには文頭に助詞「は」を添えて示します。

・パーティーは どのようびが いいです。 Paatii wa doyoobi ga ii desu. En cuanto a la fiesta, el sábado me va bien.

特定の日時の都合について尋ねるときには、その日時を助詞「は」で示します。

・きんようびは どうですか。 Kin'yoobi wa doo desu ka. ¿Qué tal el viernes?

特定の日時について、都合が悪いと言うときは、その日時を助詞「は」で示し、「いいです」の反対で「だめです」と言います。否定的な答えをするときには、相手の気持ちを傷つけないようにとの配慮から、その前か後ろに「すみません」とつけたり、どうしてだめなのか理由を述べたりします。

・きんようびは だめです。すみません。 Kin'yoobi wa damedesu. Sumimasen. El viernes no me viene bien. Lo siento.

特定の日時について、都合が良いと言うときは、その日時を助詞「は」で示し、「いいです」または「だいじょうぶです」と言います。どの日や時間でも、いつでも都合が良いときには「いつでも いいです」と言います。

・きんようびは だいじょうぶです。 Kin'yoobi wa daijobu desu. El viernes está bien.

・いつでも いいです。 Itsu demo ii desu. (Por mi parte,) cuando sea.

4. 助詞 に

助詞「に」にはいろいろな用法がありますが、その一つとして、「行きます」、「来ます」、「帰ります」などの移動を表わす動詞と一緒に使ってその移動の目的地を示すものがあります。地名や場所を表わす名詞の後ろに「に」を添えます。行き先を示すには助詞「へ」を使うこともあります。

・7じはんに がっこうに いきます。 Shichi-ji han ni gakkoo ni ikimasu. Voy a la escuela a las siete.

・8じごろ うちに かえります。 Hachi-ji goro uchi ni kaerimasu. Vuelvo a casa alrededor de las ocho.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 曜日

日本のカレンダーは一番左に日曜日があるものが主流ですが、月曜日から始まるものもあります。曜日の名前は「げつようび」「かようび」のように「～ようび」という共通部分を持ちますが、この部分を省略して「げつ」「か」のように言う言い方があります。「かようび」は「かあ」、「どようび」は「どお」と、ほかの曜日に合わせて2音節に発音することもあります。(カレンダー、日付については12課を参照)

・にほんごのクラスは、かあ、もく、の7じからです。 Nihongo no kurasu wa kaa moku no shichi-ji kara desu.

Las clases de japonés son a (desde) las siete los martes y jueves.

・ど、にち、は なにを しますか。 Do nichi wa nani o shimasu ka.

¿Qué haces el sábado y el domingo?

『りかい』p.94 に曜日を書くときの漢字があります。「げつようび(lunes)」の「げつ(月)」は「つき(月/luna)」ということばと同じ漢字です。「かようび(martes)」の「か(火)」は「かせい(Martes)」の「か」と同じ漢字です。以下、同様に「すいようび(miércoles)」の「すい(水)」は「すいせい(Mercurio)」の「すい」、「もくようび(jueves)」の「もく(木)」は「もくせい(Jupiter)」の「もく」、「きんようび(viernes)」の「きん(金)」は「きんせい(Venus)」の「きん」、「どようび(sábado)」の「ど(土)」は「どせい(Saturno)」の「ど」と、それぞれ同じ漢字です。そして「にちようび(domingo)」の「にち(日)」は「ひ(日/sol)」と同じ漢字です。

2. 誕生日

「たんじょうび」は生まれた日付の月日(cumpleaños)、「せいねんがっぴ」は生まれた年月日(fecha de nacimiento)のことです。昔の日本ではお正月の1月1日に歳を加えていて、個人の誕生日を祝う習慣が始まってから一世紀もたっていません。パーティを開いて、おいしい料理を食べ、願いごとをしながらケーキのろうそくを吹き消し、プレゼントをもらうなど、欧米からはいつてきた習慣です。誕生日の人が自分でパーティーを準備して周囲の人を招待したり、お菓子やプレゼントを配ったりする習慣はありません。たいていは家族や仲のよい友人が準備をして祝ってくれます。

3. おめでとう

お祝いの気持ちを表すことばです。目上の人やそれほど近しくない人に対してや、フォーマルな場面では「おめでとうございます」とも言います。誕生日のほかにも、お正月に「あけまして、おめでとう」、大学を卒業した人に「そつぎょう、おめでとう」、結婚式で「けっこん、おめでとう」、赤ちゃんが生まれた人に「赤ちゃん、おめでとう」など、いろいろな場面で使えます。言われた人は「ありがとう」「ありがとうございます」とこたえます。

4. かんぱい!

祝杯をあげるときに言うことばです。もともとは「杯を乾す」という意味で、自分の杯に入っているお酒などを全部飲み干すのが礼儀でしたが、現在ではあまりこだわらなくてもよいでしょう。

だい11か しゅみは なんですか

Shumi wa nan desu ka



形		使い方
・どくしょが すきです。	Dokusho ga suki desu.	・好きなことについて話します。
・ギターが できます。	Gitaa ga dekimasu.	・できることについて話します。
・うちで えいがを みます。	Uchi de eega o mimasu.	・どこで何をするかを表します。
・ときどき かいものを します。	Tokidoki kaimono o shimasu.	・何かをする頻度を表します。

1. どくしょが すきです。 Me gusta la lectura.

第5課で見たように、好みを表すにはナ形容詞の「すきです」を使います。趣味などの好きなことは名詞で表されて、そのあとには助詞の「が」がつきます。形容詞を否定形で使ったときは助詞が「は」になります。とても好きなことを表すには「だいすき」を使います。質問文には「何」を使います。また、より詳しくジャンルや種類を尋ねるときには「どんな」を使います。

- ・どくしょが すきです。 Dokusho **ga** sukidesu. Me gusta la lectura.
- ・どくしょは すきじゃないです。 Dokusho **wa** sukijanaidesu. No me gusta la lectura.
- ・どくしょが だいすきです。 Dokusho **ga** daisukidesu. Me encanta la lectura.
- ・なにが すきですか。 Nani **ga** sukidesu ka. ¿Qué es lo que te gusta?
- ・どんな スポーツが すきですか。 Donna supootsu **ga** sukidesu ka. ¿Qué tipo de deporte te gusta?

2. ギターが できます。 Sé (tocar) la guitarra.

「…ができます」は能力や技能を表すときに使います。第3課では自分の知っている言語を表すのにこの文型を使いましたが(例: 日本語ができます)、ここでは特技を表すのに使います。否定文のときには「が」が「は」に代わります。

- ・ギターが できます。 Gitaa **ga** dekimasu. Sé (tocar) la guitarra.
- ・ギターは できません。 Gitaa **wa** dekimasen. No sé tocar la guitarra.

質問に答えるときなど、「自慢」に聞こえないようにするためには「すこし」などの程度の副詞がよく使われます。

- ・A: すずきさんは なにごが できますか。 Suzuki-san wa nanigo **ga** dekimasu ka? Sra. Suzuki, ¿qué idiomas sabe?
- ・B: スペインごが すこし できます。 Supeingo **ga** sukoshi dekimasu. Sé un poco de español.

3. うちで えいがを みます。 Veo películas en casa.

活動が行われる場所には「で」がつきます。次の例では「(えいがを)みる」活動がうちで行われるので「うち」に「で」がついています。活動が行われる場所を尋ねるときは「どこで」を使います。

- ・うちで えいがを みます。 Uchi de eiga o mimasu. Veo películas en casa.
- ・どこで えいがを みますか。 Doko de eiga o mimasu ka. ¿(En) dónde ves películas?

4. ときどき かいものを します。 A veces hago compras.

「よく」「ときどき」「あまり」「ぜんぜん」は程度を表す副詞で、動詞句の前に現れます。「あまり」はあまり頻繁でないときに、「ぜんぜん」は頻度がゼロに等しいときに使います。いずれもネガティブな副詞のため、動詞は必ず否定形になります。

- ・よく かいものを します。 Yoku kaimono o shimasu. A menudo hago compras.
- ・ときどき かいものを します。 Tokidoki kaimono o shimasu. A veces hago compras.
- ・あまり かいものを しません。 Amari kaimono o shimasen. No hago mucho compras.
- ・ぜんぜん かいものを しません。 Zenzen kaimono o shimasen. No hago nada de compras.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 表現はソフトに

日本は曖昧さを好む文化です。「サッカーは好きじゃないです」のように、はっきりと言うのが好まれる場合もありますが、特に聞き手が話題のことを好意に思っている場合は、「サッカーはちょっと…」のように否定形を避けます。また、自分の能力や技能について話す場合も、「私は…ができます」というのはそれについて自信があることを含意します。自慢に聞こえないようにするためには「私は…がすこしできます」など、副詞を活用します。

2. 日本人の昔からの嗜み

日本人に人気の趣味はいろいろあり、その傾向は時代、年齢、性別によって異なりますが、昔から親しまれてきたものがいくつかあります。

俳句 HAIKU: 俳句は、五・七・五の三句十七音から成る日本独自の定型詩で、17世紀に松尾芭蕉によりその形が完成しました。限られた文字数の中で自然の美しさや人の心情を表現します。芭蕉の「古池や 蛙飛び込む 水の音」はとて有名で世界のいろいろな言語に訳されています。

折り紙 ORIGAMI: 折り紙は一枚の紙を折ることで様々な形を作りあげる遊びです。平安時代(8-12世紀)の貴族の遊びから転じたものと言われています。紙は一般的に正方形のものが使われ、「折り紙」と呼ばれる薄い紙のほか和紙がよく使われます。最も有名な形は鶴で、鶴を千羽折って糸に通してものは「千羽鶴」と呼ばれ、病気を治したり願いを叶えたりすると言われています。

生け花 IKEBANA: 生け花は草木や花を人間と同じいのちのあるものとして見つめ、その美しさを花瓶の上で表現する伝統芸能です。室町時代に床の間に飾って鑑賞するものとして完成したため、正面から見たときに最も美しく見えるように生けます。全国に様々な流派があって極めるには長い年月の鍛錬が必要です。

茶道 SADOO: 茶道は生け花と並ぶ日本の伝統芸能の一つで、ある決まった様式にのっとりて客人に抹茶をふるまうものです。16世紀に千利休によってその原形が完成しました。大きくは3つの流派があり、礼儀作法やもてなしの心を学ぶものとして広く親しまれています。また、現代では着物を着て出かける機会としても楽しまれています。

3. 日本のスポーツ

日本では大学生の間でテニス、サラリーマンの間でゴルフ、若者や子どもたちの中でサッカーなど、様々なスポーツが親しまれていますが、中でも野球は昔からの国民的スポーツとして、柔道は国技の1つとして大事な位置を占めています。

野球 YAKYUU: プロ野球には2つのリーグにそれぞれ12のチームがあり、戦後はどの家庭もどこかのチームのファンであるほど国民的なスポーツでした。最近ではサッカー人気に押されていますが、野球に関するニュースは依然としてスポーツ各紙の一面を飾っています。また春と夏には高校生による全国トーナメントが大阪の甲子園球場で行われ、高校生の精一杯闘う姿にみんなが白熱します。

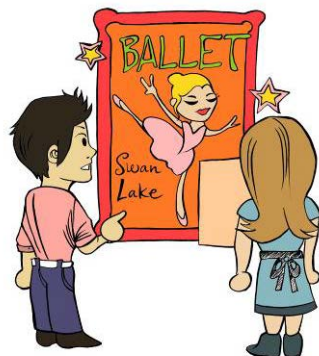
柔道 JUUDO: 柔道は日本が起源のスポーツで、相手の力を利用して相手を制することを基本理念にしています。また1964年の東京オリンピック以来、オリンピックの正式種目にもなっています。現在では道場での活動の他、中学、高校の体育の授業の中や警察署の活動の中で取り入れられています。

だい12か いっしょに いきませんか

Issho ni ikimasen ka

いっしょに みに いきませんか。

Issho ni mi ni ikimasen ka.



いいですね。

Ii desu ne.

形	使い方
<ul style="list-style-type: none"> ・どようびに コンサートが あります。 Doyoobi ni konsaato ga arimasu. ・こくさいホールで えいがが あります。 Kokusai-Hooru de eega ga arimasu. ・すもうを みに いきます。 Sumoo o mi ni ikimasu. ・いっしょに こうえんに いきませんか。 Issho ni kooen ni ikimasen ka. ・いきましよう。 Ikimashoo. 	<ul style="list-style-type: none"> ・あるイベントがいつ行われるかを表します。 ・どこで何が行われるかを表します。 ・何をしに行くかを表します。 ・だれかを何かに誘います。 ・何かを一緒にすることを表します。

1. どようびに コンサートが あります。 Hay un concierto el sábado.

第7課では物の存在を表す言い方として「～があります」を見ましたが、「あります」はイベントなど抽象的なものの存在を表すのにも使います。存在することには「が」がつきます。

・コンサートが あります。 Konsaato ga arimasu. Hay un concierto.

日にちや時間を表す時、それが直接ある具体的な時を表すとき(3時、15日、2012年)と曜日を表すときは「に」がつきます。「今日」、「今週」、「来月」などほかの時間を基準にその指示対象がきまる表現には「に」はつきません。

・15にちに コンサートが あります。 Juugo-nichi ni konsaato ga arimasu. Hay un concierto el día 15.

・もくようびに コンサートが あります。 Mokuyoo ni konsaato ga arimasu. Hay un concierto el jueves.

・こんしゅう コンサートが あります。 Konshuu konsaato ga arimasu. Hay un concierto esta semana.

・らいしゅうの もくようびに コンサートが あります。 Raishuu no mokuyoo ni konsaato ga arimasu. Hay un concierto el jueves de la semana que viene.

あるイベントがいつ行われるかを尋ねるときは「いつ」を使います。

・A: いつ コンサートが ありますか。 Itsu konsaato ga arimasu ka? ¿Cuándo es el concierto?

B: 15にちに あります。 Juugo-nichi ni arimasu. Es el día 15.

・A: コンサートは、いつ ありますか。 Konsaato wa, itsu arimasu ka? El concierto, ¿cuándo es?

B: 15にちに あります。 Juugo-nichi ni arimasu. Es el día 15.

2. こくさいホールで えいがが あります。 Hay cine en Kokusai-Hooru.

第7課では物が存在する場所を表すときに「(場所)に(物)があります」という構文を使うことを見ました。イベントが行われる場所を表すときは「に」ではなく「で」がつきます。日時を付け加えることもできます。その場合の順番は、時が場所に先行するのが普通です。また、あるイベントがどこで行われるかを尋ねるときは「どこで」を使います。

・こくさいホールで えいがが あります。 Kokusai-Hooru de eega ga arimasu. Hay película en el Centro Internacional.

・もくようびに こくさいホールで えいがが あります。 Mokuyoobi ni Kokusai-Hooru de eega ga arimasu. Hay película en el Centro Internacional el jueves.

・A: どこで えいがが ありますか。 Doko de eega ga arimasu ka? ¿Dónde será la película?

B: こくさいホールで あります。 Kokusai-Hooru de arimasu. Será en el Centro Internacional.

3. すもうを みに いきます。 Voy a ir a ver sumo.

ある活動をするために場所を移動する場合は「…にいきます」を使います。「…」の部分には活動を表す動詞のマス形から「ます」をとったものがきます。

・すもうを みに いきます。 Sumoo o mi ni ikimasu. Voy a ir a ver sumo.

・しゃしんを とりに いきます。 Shashin o tori ni ikimasu. Voy a ir a hacer fotos.

4. いっしょに こうえんに いきませんか。 ¿Por qué no vamos juntos al parque?

誰かを何かに誘うときには「…ませんか」の形が一般的に使われます。

・いっしょに こうえんに いきませんか。 Issho ni kooen ni ikimasen ka? ¿Por qué no vamos juntos al parque?

上の例文では目的地である「こうえん」に誘っていますが、あるイベントに誘う場合も「に」をつけて使うことができます。

・もくようびに コンサートに いきませんか。 Mokuyoobi ni konsaato ni ikimasen ka. ¿Por qué no vamos a un concierto el jueves?

5. いきましょう。 ¡Vayamos!

誘いを受け入れる時、また相手といっしょに何かをすることを質問の形ではなく提案にするときは「…ましょう」という形を使います。また、相手の意見に賛同する表現を合せて入れるとより自然な表現になります。

・A: いっしょに こうえんに いきませんか。 Issho ni kooen ni ikimasen ka? ¿Por qué no vamos juntos al parque?

B: いいですね。いきましょう。 lidesu ne. ikimashoo. Me parece bien. ¡Vayamos!

・こんど、いっしょに ごはんを たべましょう。 Kondo issho ni gohan o tabemashoo. ¡Vamos a comer juntos el próximo día!

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 日本語の誘う表現

日本語では誘いをかけるとき、この課で見たように、ある行為を提案する表現が使われ、「あなたは行きたいですか。」のように相手の希望や気持ちの有無を問う表現は使われません。「コーヒーを飲みたいですか。」や「ごはんを食べたいですか。」と言った場合、聞き手は質問を文字通り理解できても、意志の有無を聞いているだけなのか、食べたり、飲んだりすることを提案しているのか、わからなくて答えに戸惑ってしまうかもしれません。

2. たのしみです。

あることを心待ちにしていることを表すには「たのしみです。」や「たのしみにしています。」が便利です。誘いの結びに使うこともできますし、メッセージの結びに使うこともできます。質問(「見に行きますか。」「行きたいですか。)」の答えとしてであれば、「もちろんです。」や「もちろん！」を使うこともできます。

3. 日本語の断る表現

日本語ではたとえ友だち同士でも、はっきり断ることは拒絶をされているように感じられ、好まれません。「いきません。」や「いきたくないです。」のかわりに、「その日はちょっと…」や「今回はいきません」のように、自分がしたくないのではなく、他の事情でできないという表現を使います。

4. 約束は早めに

日本では誘いや約束は早めにするのが習慣です。少なくとも1週間前にはするようしましょう。また、当日または直前に誘うことは相手に何も用事がない、または相手のあるかもしれない用事を尊重していないように解釈され、誤解を生む可能性があります。

5. 日本の四季

日本人は昔から季節の移り変わりに目を向け、自然と一体になって暮らしてきました。そのため日本の祝日は春分や秋分、みどりの日や海の日など、自然現象や季節の変化に由来するものが多く、またそれぞれの季節には様々な行事が行われます。

春 HARU: 3月から4月にかけて南から順に桜の花が咲きます。まだ寒さが残るこの季節に葉より先に花が咲く桜は春の訪れの象徴です。その桜が満開になった時、日本人は桜の花を見に出かけたり、桜の木の下でピクニックをしたりして「花見」(文字通り花を見る)をします。また4月29日の「昭和の日」から5月5日の「こどもの日」は祝日が重なり、「ゴールデンウィーク」と呼ばれます。新緑のこの季節には山登りを楽しんだり、公園などに出かけたりする人も多いです。

夏 NATSU: 梅雨が明けて夏になると、海水浴場がにぎわい、全国各地で夏祭りが行われます。また、外国ではお正月に花火が打ち上げられますが、日本では夏の風物詩です。夏祭りや花火大会には浴衣で出かける人も多いです。また「盆踊り」は海外でも広く知られていますが、もとはお盆に招いた霊を迎え、送る意味で旧暦7月15日の満月の夜に月明かりの下で夜通し行われた行事です。現代では宗教的な意味合いは薄れ、夏祭りの1つのイベントになっています。

秋 AKI: 秋になると、夜が長くなります。この頃の満月は1年でもっとも美しいと言われ、古く昔からお月見をする習慣があります。また、秋は旨味をたっぷり蓄えた食べ物の実りの季節でもあります。「ぶどう狩り」や「きのこ狩り」など収穫のイベントが各地で行われます。また、11月ごろには紅葉が始まります。紅葉を見に出かけることを「紅葉狩り」といいます。

冬 FUYU: 冬、日本海側や北海道では雪がたくさん降り、雪を楽しむ行事が行われます。特に巨大な雪の彫刻で街が彩られる札幌の雪祭りはとても有名です。また、日本で1年の始めを祝うお正月は大切な祝日です。お正月には親戚が集まり、お祝いは3日間続きます。お正月には神社に行ってその年の幸運を祈ります。これを「初詣」と言います。「初詣」には着物を着たりスーツなどの正装をして出かける人が多いです。

だい13か どうやって いきますか

Doo yatte ikimasu ka

うちから かいしゃまで
どうやって いきますか。
Uchi kara kaisha made
doo yatte ikimasu ka.



ちかてつで いきます。
Chikatetsu de ikimasu.

形	使い方
<ul style="list-style-type: none"> ・うちから えきまで バスで いきます。 Uchi kara eki made basu de ikimasu. ・えきで でんしゃに のります。 Eki de densha ni norimasu. ・くこうは でんしゃが いいです。 Kuukoo wa densha ga iidesu. ・はやいです から。 Hayai desu kara. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある場所からある場所までの行き方を言います。 ・どこでどんな交通機関に乗るか言います。 ・ある場所に行くにはどの交通機関がいいか勧めます。 ・ある交通機関を勧める理由を言います。

1. うちから えきまで バスで いきます。 Voy en autobus desde mi casa hasta la estación.

ある場所からある場所まで、どの交通手段で行くかを表す表現です。範囲を表すのに、「～から～まで」を使います。交通手段について質問する時は疑問詞「どうやって」を使います。

- ・うちから えきまで バスで いきます。 Uchi **kara** eki **made** basu **de** **ikimasu**. **Voy en autobus desde mi casa hasta la estación.**
- ・うちから えきまで どうやって いきますか。 Uchi kara eki made **dooyatte ikimasu ka**. **¿Como se va desde tu casa hasta la estación?**

① 助詞 から まで

「から」は出発点、「まで」は到達点を表します。「～から」、「～まで」だけで使うこともできます。(時間については L10 参照)

- ・ここから バスで いきます。 Koko **kara** basu de ikimasu. **Voy en autobus desde aquí.**
- ・かいしゃまで あるいて いきます。 Kaisha **made** aruite ikimasu. **Voy en pie hasta la oficina.**
- ・ふじホテルまで おねがいします。 Fuji-Hoteru **made** onegaishimasu. **Para hotel Fuji, por favor.**

② 助詞 で

どうやって行くかの交通手段(バス、電車、地下鉄、タクシーなど)の名詞には助詞の「で」を使います。歩く時だけ、動詞の「歩いていきます」になります。

- ・ちかてつで いきます。 Chikatetsu **de** ikimasu. **Voy en metro.**
- ・えきから かいしゃまで あるいて いきます。 Eki kara kaisha made **aruite ikimasu**. **Voy andando desde la estación hasta la oficina.**

2. えきで でんしゃに のります。 Subo al tren en la estación.

① 助詞 で

交通機関に乗ったり降りたりする場所には「で」を使います。乗降の場所を尋ねる時は疑問詞「どこで」を使います。

・アトチャえきで でんしゃに のります。 Atocha-eki de densha ni norimasu. Subo al tren en la estación Atocha.

・どこで おりますか。 Doko de orimasu ka. ¿Donde te bajas?

② 助詞 に

乗り物に乗るときは助詞の「に」を使います。

・くこうで ひこうきに のります。 Kuukoo de hikooki ni norimasu. Subo al avión en el aeropuerto.

③ 助詞 を

乗り物を降りる時は助詞の「を」を使います。

・アトチャえきで でんしゃを おります。 Midori-eki de densha o orimasu. Bajo del tren en la estación Atocha.

3. くこうは でんしゃが いいです。 Para ir al aeropuerto es mejor el tren.

相手の発言や質問を受けて、ある場所への行き方を勧めたり、アドバイスをするとき、「～は～がいいです。」を使います。この文では、相手が知らない情報を伝えるため、終助詞の「よ」をつけることも多いです。

・くこうは でんしゃが いいですよ。 Kuukoo wa densha ga iidesu yo. Para ir al aeropuerto es mejor el tren.

4. はやいですから。 Porque es rápido.

理由を言う時、「～から」を使います。ある交通機関を勧める理由を表す、形容詞(「はやいです」「らくです」「べんりです」など)や動詞(「つかれます」などの述語のあとに「から」をつけます。

① 助詞 から

・はやいですから。 Hayai desu kara. Porque es rápido.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 日本の乗り物

日本は公共交通機関が発達していて、新幹線や電車など長距離の乗り物だけでなく、地下鉄やバスなども分刻みでダイヤが組まれていて、時刻表通りに運行しているのは有名です。そのため、大都市などでは、車よりも電車、バス、地下鉄などの公共交通機関を使って通勤や通学をする人が多いです。出発地と到着地を入れると乗り換えの方法や時刻を表示してくれるサイトなどもよく使われています。ただし、深夜運行はしない路線が多いので、終電や終バスを逃さないよう気をつけましょう。また、駅名の表示はローマ字がついている場合もありますが、切符売り場やホームでは漢字表記のみの場合もあり、また車内放送は日本語のみの場合も多いです。

電車 DENSHA: 一般的な交通機関です。元国有会社だった JR (ジェイアール Japan railways) が全国的に多数の路線を展開しています。東京や大阪などの大都市では、山の手線や環状線など街の中心部を一周する路線もあります。都市部では通勤時間の朝 7-9 時、夜 5-7 時の電車は大変混み合い、駅員が人を押し込んで乗車する風景も見られます。特急、急行、快速、普通など停車駅やスピードにより、さまざまなタイプがあります。都市によっては路面電車もあります。

地下鉄 CHIKATETSU: 東京、大阪、名古屋、京都などの大都市には地下鉄の路線網が張り巡らされており、便利です。乗り換えにかなり距離がある場合もあります。

バス BASU: 電車よりさらに細かく路線が張り巡らされています。バスの料金は一律ではなく、乗車距離によって小刻みに変わることも多いです。車内にある電光掲示板に次の停留所と料金が表示されることもありますが、漢字表示のみのため、降りる場所を知らない場合は利用が難しいかもしれません。地域や路線によって、乗る時に料金を払う場合と、降りる時に払う場合がありますので、周囲の人にやり方をきくといいでしょう。

タクシー TAKUSHII: 駅のタクシー乗り場や流しのタクシーなど、すぐに見つけることができます。「空車」の表示が出ているタクシーが乗車可能です。流しのタクシーの場合は、手を挙げて止めます。ドアは運転手が操作するので、自分で開けたり閉めたりしないでください。距離や時間によって加算料金が決まっており、料金メーターに表示されます。日本のタクシー料金はスペインと比べ、かなり高いです。

バイク BAIKU: 郵便配達やピザの配達などに原動機付自転車がよく使われています。

自転車 JITENNSHA: 日本では自転車はスポーツのためというより、通学や通勤、買い物など、日常生活の移動手段として、子どもから大人までよく利用される乗り物です。貸し自転車は観光地以外ではあまり一般的ではありません。

2. すみません、おねがいします

「すみません」と「おねがいします」は交通機関を利用する時に、とても役立つ表現です。行き方や乗り方などがわからない時は、まずだれかに「すみません」と話しかけましょう。よくわからない時繰り返してもらったり、書いてもらう場合にも「すみません、もういちど教えてください。」「すみません、ここに 書いてください。」などと使うと丁寧にお願いできます。また、タクシーに乗った時は、「ふじホテルまで おねがいします。」「にもつ、お願いします。」「カードで お願いします。」など、「お願いします」を使うといいでしょう。

だい14か ゆうめいな おてらです

Yuumeena otera desu

マドリードは どんな
まちですか。
Madoriido wa donna
machi desu ka.



にぎやかな まちです。
Nigiyakana machi desu.

形

- ・ふるい じんじゃ、にぎやかな まち furui jinja, nigiyakana machi
- ・さいたまに ふるい じんじゃ があります。 Saitama ni furui jinja ga arimasu.
- ・えきの となり、きつさてんの まえ eki no tonari, kissaten no mae
- ・きつさてんは えきの となりに あります。 Kissaten wa eki no tonari ni arimasu.
- ・わたしは きつさてんの まえに います。 Watashi wa kissaten no mae ni imasu.

使い方

- ・街や観光地、建物の様子を形容します。
- ・ある街にどんな観光スポットや建物があるか言います。
- ・建物や人の位置を言います。
- ・ある建物がどこにあるかを言います。
- ・ある人がどこにいるかを言います。

1. ふるい じんじゃ、にぎやかな まち santuario sintoísta antiguo, ciudad animada

街や観光地、建物の様子などを形容する表現です。形容詞にはい形容詞とな形容詞があります(L5参照)。い形容詞の「ふるいです」、な形容詞の「にぎやかです」は、名詞を修飾する時は、それぞれ「～い＋名詞」「～な＋名詞」になります。

- ・ふるい じんじゃ、ちいさい ホテル furui jinja, chiisai hoteru santuario sintoísta antiguo, hotel pequeño
- ・にぎやかな まち、ゆうめいな おてら nigiyakana machi, yuumeena otera ciudad animada, templo famoso

2. さいたまに ふるい じんじゃが あります。 Hay un santuario antiguo en SAITAMA.

「～に～があります。」の文型はある街にどんな観光スポットや建物があるかなど、特定の場所に何が存在するかを描写する言い方です。存在を表す動詞「あります」の場所は助詞の「に」で示され、存在する物は「が」で示されます。否定文の時は、「が」は「は」になります。

- ・さいたまに ふるい じんじゃが あります。 Saitama ni furui jinja ga arimasu. Hay un santuario shintoista antiguo en Saitama.
- ・ふじまちに ふるい おてらは ありません。 Fujimachi ni furui otera wa arimasen. No hay un templo antiguo en Fujimachi.
- ・マドリードに なにが ありますか。 Madoriido ni nani ga arimasu ka. ¿Qué hay en madrid?

3. えきの となり、きつさてんの まえ a lado de la estación, delante de la cafetería

建物や人の位置を示す時、「目印＋の＋位置詞」のように表します。位置詞には「まえ、うしろ、なか、となり、ちかく」があります。

- ・えきの となり、きつさてんの まえ eki no tonari, kissaten no mae a lado de la estación, delante de la cafetería

4. きっさてんは えきの となりに あります。 La cafetería está a lado de la estación.

ある特定の観光地や店、建物などがどこにあるのか、存在の位置を示すのに、「～は～にあります。」を使います。否定文では、「～は～にはありません。」になります。質問する時は「～はどこにありますか。」になります。

- ・きっさてんは えきの となりに あります。 Kissaten wa eki no tonari ni arimasu. La cafetería está a lado de la estación.
- ・A: えきのとなりに ぎんこうが ありますか。 Eki no tonari ni ginkoo ga arimasu ka. ¿Está el banco a lado de la estación?
- ・B: えきの となりに は ありません。 Eki no tonari ni wa arimasen. (El banco) no está a lado de la estación.
- ・きっさてんは どこに ありますか。 Kissaten wa doko ni arimasu ka. ¿Dónde está la cafetería?

5. わたしは きっさてんの まえに います。 Estoy en frente de la cafetería.

「～は～にいます。」はある人がどこにいるのか、存在の位置を示す言い方です。否定文では、「～は～にはいません。」になります。質問する時は「～はどこにいますか。」になります。同様に、L8 で学んだ「～はどこですか。」も質問に使うことができます。

- ・わたしは きっさてんの まえに います。 Watashi wa kissaten no mae ni imasu. Estoy delante de la cafetería.
- ・すずきさんは えきの まえには いません。 Suzuki-san wa eki no mae ni wa imasen. La sra. Suzuki no está en frente de la estación.
- ・マリアさんは どこに いますか。 Maria-san wa doko ni imasu ka. ¿Dónde está María?

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 日本の街

日本では、住所は通りの名前ではなく、区画の名前と番号で示されています。小さい道には名前がないことも多く、通りの名前で場所を探すのは困難です。日本の街では、京都だけは碁盤の目のように通りが交差しており、通り名で住所が示されています。道を探す時には、目印になる建物や店を手がかりにするといいでしょう。

2. 日本の建物

日本の街には近代的な建物と伝統的な建物が共存しています。例えば、東京の高層ビルの中に小さな古い神社やお寺があったり、住宅街の中に鉄筋コンクリートのマンションと伝統的な和風の一軒家が並んでいたりします。

神社 JINJA: 神道の神社です。入り口には鳥居と呼ばれる門があり、一礼して潜って敷地内に入ります。次に、手水(水が貯めてある場所)で、手と口を清めてから境内に入ります。神社の中には大小の建物があり、さまざまな神様が祀られています。お参りする時は、賽銭を入れ、鈴を鳴らし、二礼二拍手一礼をします。日本人はお正月、子どもが生まれた時、受験の願掛けなどの際に神社にお参りします。

お寺 OTERA: 仏教の寺院です。仏像が安置された本堂のほか、五重塔などにも有名です。日本では、神社とお寺は同じ敷地内に同居していることもあります。信者は日常적으로お参りして僧侶の説法を聴いたり、お葬式や法事などで僧侶に家に来てもらったりします。

だい15か かわいい！

Kawaii !



なにが ほしいですか。
Nani ga hoshii desu ka.

おもしろい Tシャツが
ほしいです。
Omoshiroi T-shatsu ga
hoshii desu.

形	使い方
<p>・わたしは アクセサリーが ほしいです。 Watashi wa akusesarii ga hoshii desu.</p> <p>・わたしは カーラさんに はなを あげます。 Watashi wa Kaara-san ni hana o agemasu.</p> <p>・カーラさんは ホセさんに チョコレートを Kaara-san wa Hose-san ni chokoreeto o moraimashita.</p> <p>・きょねん にほんで とけいを かいしました。 Kyonen nihon de tokee o kaimashita.</p>	<p>・ほしいもの、買いたいものを言います。</p> <p>・人に物をあげる、プレゼントすることを表します。</p> <p>・誰かに何かをもらったことを表します。</p> <p>・どこで何を買ったかを言います。</p>

1. わたしは アクセサリーが ほしいです。 Quiero los complementos.

ほしいもの、買いたいものを言う表現です。「～ほしい」は、「(主語)は(名詞)がほしいです」の形をとります。主語は省くことができます。同じような表現に「～たい」があり、こちらは、「(主語)は(動詞マス形の語幹)たいです」の形をとって、動作の願望を表します。(詳しくは18課で勉強します。)

・(わたしは) アクセサリーが ほしいです。 (Watashi wa) akusesarii ga hoshii desu. Yo quiero complementos.

聞く時は、疑問詞の「なに」を使います。

・A: カーラさんは なにが ほしいですか。 Kaara-san wa nai ga hoshii desu ka. Carla, ¿qué quieres?

B: おもしろい Tシャツが ほしいです。 Omoshiroi T-shatsu ga hoshii desu. Quiero una camiseta divertida.

ほしいものの数量を言いたい時は、名詞の後に、(数詞+助数詞)で表します。助数詞は、数えるものの種類によって異なります。

(『ごいちょう』p.81 参照)

～まい MAI …薄いもの(例:紙、葉書、切符、シャツ…)

～ほん HON …長いもの(例:びん、えんぴつ、かさ、バナナ…)

～こ KO …小さいもの、個別のもの。「一つ、二つ」でも数えられます。(例:りんご、ボール、指輪…)

～さつ SATSU …本やノート。

～にん NIN…人数

・えはがきが 8まい ほしいです。 Ehagaki ga hachi-mai hoshii desu. Quiero ocho postales.

・かさが 1ぽん と ハンカチが 3まい ほしいです。 Kasa ga ippon to hankachi ga san-mai hoshii desu. Quiero un paraguas y

tres pañuelos.

2. わたしは カーラさんに はなを あげます。 Le doy flores a Carla.

主語(与え手)が誰か(受け手)に物をあげる時に、「(与え手)は、(受け手)に(物)をあげます。」の文で表します。

・わたしは カーラさんに チョコレートを あげます。 Watashi wa Kaara-san ni chokoreeto o agemasu. Yo le doy bombones a Carla.

・すずきさんは ともだちに とけいを あげました。 Suzuki-san wa tomodachi ni tokee o agemashita. Sra.Suzuki le regaló un reloj a un amigo.

疑問文の場合は、「だれに」や「なにを」を使います。

・あなたは おかあさんに なにを あげますか。 Anata wa okaasan ni nani o agemasu ka. ¿Qué le regalaste a tu madre?

・だれに にほんごのほんを あげましたか。 Dare ni nihongo no hon o agemashita ka. ¿A quién le diste el libro de japonés?

<注意>

私を受け取り手にすることができません。スペイン語の dar a mi のように ×「ホセさんはわたしに花をあげました。」ということはありません。この場合は、「もらう」を使って、「わたしはホセさんに花をもらいました。」といいます。

3. カーラさんは ホセさんに チョコレートを もらいました。 Carla recibió los bombones de José.

「もらいます」は相手から何かを受け取ることを表します。「(受け手)は、(与え手)に(物)をもらいます。」の文で表します。スペイン語の dar a mi も recibir を使って、「わたしは～に～をもらいました。」と言います。

・わたしは ははに Tシャツを もらいました。 Watashi wa haha ni T-shatsu o moraimashita. He recibido una camiseta de mi madre.

・カーラさんは ホセさんに チョコレートを もらいました。 Kaara-san wa Hose-san ni chokoreeto o moraimashita. Carla recibió bombones de José.

4. きょねん にほんで とけいを かいしました。 El año pasado compré el reloj en Japón.

助詞「で」は買った場所を、助詞「を」は買ったものを表します。「かいしました」は、「かいます」の過去肯定形、「かいませんでした」は過去否定形です。過去形の場合、過去の時間を表す言葉、「きのう」「おととい」「せんしゅう」「せんげつ」「きょねん」などを文のはじめにつけることが多いです。

・はなやで はなを かいしました。 Hanaya de hana o kaimashita. Compré flores en la floristería.

・A: きんのう ほんやで なにを かいしましたか。 Kinoo honya de nani o kaimashita ka. ¿Qué compraste ayer en la librería?

B: ざっしを かいしました。 Zasshi o kaimashita. Compré una revista.

「どこで 買えますか」という表現は、どこで買うことができますかという意味です。

・A: おもしろい Tシャツは どこで かえますか。 Omoshiroi T-shatsu wa doko de kaemasu ka. ¿Dónde se puede comprar una camiseta divertida?

B: はらじゅくで かえます。 Harajuku de kaemasu. En Harajuku.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 日本で買物

東京、大阪、横浜など首都圏には、デパートやショッピングセンターなどがあり、休日、祭日でも、買物を楽しむことができます。また、都心のほとんどの駅にはショッピングセンター、駅の周辺に、スーパーや小売店があります。また、住宅街には、

年中無休、24時間営業のコンビニがある所が多いです。

デパート DEPAATO:百貨店ともいいます。スーパーなどと比べると、多少、割高ですが、衣食住、欲しいものは、大抵そろっています。デパートによって、多少差がありますが、地下に食料品、1階に靴、バック、化粧品、2階～4階:婦人服、紳士服、ヤング、5階・6階に呉服、宝飾品、時計、子供服、スポーツ用品、おもちゃ、文房具、書籍、日用雑貨、家庭用品、電化製品、CD、などが置かれています。7階あたりは催事場として使われ、物産展や、夏や暮れのギフトシーズン(お中元、お歳暮)にはギフトセンターになります。そして、最上階にレストランがあるデパートが多いです。営業時間は大体午前10時から午後8時ごろまでです。

ショッピングセンターSHOPPINGU SENTAA:ショッピングモールともいいます。駅ビルの中や郊外にもあり、たくさんの小売店が集まっていて、駐車場が共有できます。

スーパーマーケット SUUPAA MAAKETTO:普通は、スーパーと言います。主に食料品や日用雑貨を扱っている店が多く、地域に密着しています。

小売店 KOURITEN:駅の近くに商店街があり、小売店が軒を並べている光景がよく見られます。昔から代々続いている店もありますが、昨今はショッピングセンターやスーパーマーケットに押されたり、後継者に恵まれず、主人の高齢化によって、廃業を余儀なくされる店もあります。

コンビニエンスストア(コンビニ) KONBINIENSU SUTOA (KONBINI):小売店の一種ですが、年中無休で長時間営業が特徴です。店には食料品から日用雑貨まで、3500 から 5000 種類もの商品を扱っています。

2. 山手線とその沿線

うぐいす色(黄緑)の JR 山手線は、東京都心部で環状運転を行っていて、東京の交通網の基本路線として機能しています。山手線の各駅からは、各方面へと延びる在来線、新幹線、私鉄、地下鉄へと繋がっています。観光スポットにも、山手線から行くことができます。

浅草 ASAKUSA:(JR 山手線上野駅から地下鉄銀座線に乗り換えて、浅草駅下車)

浅草寺山門である雷門で知られています。江戸時代以前から東京随一の繁華街として栄えてきた浅草には、歴史的な建物がたくさんあります。その他に業務用調理器を取り扱う合羽橋道具街など個性的な商店街や東京スカイツリーも近隣にあります。

秋葉原 AKIHABARA:(JR 山手線秋葉原駅下車)

秋葉・AKIBA の略称でもよばれています。多様な電子関連の機器やハードウェア、ソフトウェアを取り扱う世界有数の電気街として発展してきました。また、ゲームショップ、ホビーショップ、アニメショップなども建ち並び、「サブカルチャーの聖地・アキバ」として、アニメや漫画に興味を持っている外国人が多く訪れます

銀座 GINZA:(JR 山手線有楽町駅下車、あるいは地下鉄銀座線銀座駅下車)

日本で最も有名な繁華街の一つです。江戸時代から続く老舗や高級ブランドショップが軒を連ねています。銀座は400年前に徳川家康によって整備された歴史的な街で、にぎわいの中にも気品を漂わせる大人の街です。

渋谷 SHIBUYA:(JR 山手線渋谷駅下車)

最先端の流行やファッション、音楽などでにぎわう、若者文化の街として知られています。渋谷駅前には忠犬ハチ公の銅像があり、そのすぐ向かいのスクランブル交差点も渋谷を代表する風景の一つになっています。

原宿 HARAJUKU:(JR 山手線原宿駅下車)

江戸時代以前には鎌倉街道の宿場町として栄え、江戸時代には多くの幕臣の屋敷があった歴史のある街ですが、80年代に若者文化の街として一世を風靡し、今でも面白いファッションをした若者が街を歩いています。

だい16 か これ、ください

Kore, kudasai



形
・これは いくら ですか。 Kore wa ikuradesu ka.
・この Tシャツを ください 。 Kono T-shatsu o kudasai.

使い方
・値段を聞くときに、言います。
・買い物で、何かを買う時に 言います。

1. これは いくらですか。 ¿Cuánto cuesta esto?

買い物で、品物の値段を聞く時には、「いくら」を使います。「これ」はものや人、事柄を指し示す指示語です。指示語に「これ、それ、あれ」があります。「これ」は話し手の近くにあるもの、「それ」は聞き手の近くにあるもの、両者から遠く離れているものは、「あれ」を使って、指し示します。質問する時は、「どれ」を使います。

- ・A: **これは いくら**ですか。 Kore **wa ikura desu ka.** ¿Cuánto **cuesta esto?**
 B: **それは 1900 えん**です。 Sore **wa sen kyuushaku en desu.** Eso **cuesta 1900 yenes.**

2. この Tシャツ esta camiseta.

「この、その、あの」は名詞の前において名詞を限定するのに使います。限定される名詞は人でも物でもかまいません。質問するときは「どの」を使います。

- ・A: **この** Tシャツは いくらですか。 **Kono** T-shatsu wa ikuradesu ka. ¿Cuánto **cuesta esta camiseta?**
 B: 1000 えんです。 Sen-en desu. **1000 yenes.**

(『ごいちょう』p.80 かずを参照)

3. この Tシャツを ください。 Déme esta camiseta.

「(名詞)を ください。」は、何かを買う時に使う表現です(L.6 参照)。助詞「を」は省略することができます。

- ・この Tシャツを ください。 T-shatsu **o kudasai.** Póngame **esta camiseta.**
 ・**これ、ください**。 **Kore, kudasai.** Póngame **esto.**

4. 買物での表現

① ~ありますか。 ~arimasuka.

ほしいものがあるか、ないか、また、サイズや色を聞く時にも、この表現を使います。

- ・A: Sサイズ、**ありますか。** S-saizu, **arimasuka.** ¿Tienen la talla S?
 - B: すみません。**ありません。** Sumimasen. **Arimasen.** Lo siento, no hay.
 - A: じゃあ、いいです。 Jaa, iidesu. Bueno, está bien. / Entonces nada.
 - ほかの いろ、**ありますか。** Hoka no iro, **arimasuka.** ¿Lo tienen de otro color?
 - B: はい。赤と 青が あります。 Hai. Aka to ao ga arimasu. Dependiente: Sí, lo tenemos en rojo y en azul.
- もっと、値段の安い物を探しているときには、次の言い方があります。
- ・もっと、やすいの、**ありますか。** Motto, yasui no **arimasuka.** ¿Tienen otro más barato?

② きて みて も いい ですか。 ¿Puedo probarmelo?

試着したいとき、シャツやジャケット、Tシャツだったら、「着てみてもいいですか。」KITE MITEMO IIDESU KA スカートやパンツ、くつだったら、「はいてみてもいいですか。」HAITE MITEMO IIDESU KA と聞きます。「はい、どうぞ」と言われてから、試着します。店員さんに、「よく 似合いますよ」と言われるかもしれません。

③ その他の表現

ショッピングのとき、服やグッズを見ながら、こんな表現が使えたら、日本人ともっと楽しくコミュニケーションができますね。

- わあ、たかい。 Waa, takai. ¡Hala, qué caro!
- やすい！ Yasu-i! ¡Qué barato!
- かわいい！ Kawaii! ¡Qué monada! / ¡Qué mono!
- かっこいい！ Kakkoi! ¡Qué chulo!
- ほしいな。 Hoshiina ¡Lo quiero!
- まあまあかな。 Maa maa kana. Bueno, no está mal.
- いいな。 Iina. Me gusta.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 日本のお金

円は日本の通貨単位。通貨記号は¥です。硬貨は 1 円玉、5 円玉、10 円玉、50 円玉、100 円玉、500 円玉、紙幣は 1000 円札、2000 円札、5000 円札、10000 円札があります。

2. 日本のお土産（お菓子）

日本人の贈答習慣のうち、最も頻繁に行われているのが、旅行土産だそうです。国内旅行でも、海外旅行でも、日本人は家族のみならず、近所や職場の人にもお土産を買います。そのお土産の中で一番よく買われるのが、お菓子です。日本には、その地の特産物として、有名なお菓子が必ずあります。どれも、とても美味しいので、機会があったら、食べてみてください。

白い恋人(北海道) SIROI KOIBITO (HOKKAIDOO): ラング・ド・シャ langue de chat を北海道産のホワイトチョコレートで挟んだクッキーです。

草加せんべい(埼玉) SOOKA SENBEE (SAITAMA): せんべいは米で作った生地を薄くのばして、干して、それを焼いて、しょうゆをぬったものです。日本全国で売られていますが、草加せんべいは特に有名です。

ういろ(名古屋) UIROO (NAGOYA): 名古屋では、17 世紀から作られていた伝統あるお菓子です。米の粉に砂糖を合わせて、蒸します。ようかんのような形をしたものが主流です。小豆あんや抹茶など、いろいろな味があります。

生八つ橋(京都) NAMA YATSUHASHI (KYOOTO): 京都を代表するお菓子の一つです。米の粉・砂糖・ニッキを混ぜ

て蒸し、薄くのばした生地にあんこをいれたものを生八つ橋といいます。生地を焼いて、かた焼きせんべいにしたもの(八つ橋)は、17世紀末から作られていたようです。

もみじ饅頭 (広島) MOMIJI MANJU (HIROSHIMA):もみじの名所として知られる日本三景・宮島の名物です。焼きまんじゅうの一種で、小麦粉・卵・砂糖・蜂蜜を原料とするカステラ状の生地で餡を包み、もみじの葉の型に入れて、焼きあげます。1906年に完成したと言われる伝統あるお菓子です。

カステラ (長崎) KASUTERA (NAGASAKI): 名前の由来は一般的には「スペインのカスティーリャ王国 (Castilla) のポルトガル発音であるカステーラ (Castela) と言われ、16世紀末にポルトガル宣教師によって長崎周辺に伝えられたとされています。カスティーリャ地方のパン (pão de Castela)や、ビスコーチョ (biscocho) を元にしながらも、江戸時代中期に日本独特の今の長崎カステラに近いものが作られたそうです。

ちんすこう (沖縄) CHINSUKOO (OKINAWA): 琉球王国から沖縄で食べられていた伝統的なお菓子。小麦粉・砂糖・ラードを主原料にした焼き菓子です。ポルボロン(polvorón)に似た食感が楽しめます。

だい17か たのしかったです

Tanoshikatta desu



形	
・きのう デパートに いきました 。	Kinoo depaato ni ikimashita .
・かいものは たのしかったです 。	Kaimono wa tanoshikatta desu .
・デパートは にぎやかでした 。	Depaato wa nigiyaka deshita .
・わたしは どこにも いきませんでした 。	Watashi wa doko ni mo ikimasendeshita .

使い方
・休みの日に何をしたか言います。
・休みの日にしたことや行った所がどうだったか言います。
・どこにも行かなかった、何もなかった、ということ言います。

1. きのう デパートに いきました。 Ayer fui a los grandes almacenes.

過去の行動について言うとき、動詞過去形～ました MASHITA、～ませんでした MASENDESHITA を使います。きのう KINOO ayer、せんしゅう SENSUU semana pasada など過去のときをあらわす語と一緒に使うことができます(15 課参照)。

- ・どようびに えいがを みに **いきました**。 Doyoobi ni eega o mini **ikimashita**. El sabado fui al cine.
- ・きのう なにを **しましたか**。 Kinoo nani o **shimashita ka**. ¿Qué hiciste ayer?
- ・シャツは **かいませんでした**。 Shatsu wa **kaimasendeshita**. No compré la camisa.

2. かいものは たのしかったです。 Ir de compras fue divertido.

日本語の形容詞には過去形があります。過去のことがらについてどうだったか言うとき、い形容詞過去形～かったです KATTADESU、～くなかったです KUNAKATTADESU を使います。

たのしいです tanoshii desu (現在肯定形) → たのしかったです tanoshikatta desu (過去肯定形)
 たのしくないです tanoshikunai desu (現在否定形) → たのしくなかったです tanoshikunakatta desu (過去否定形)

- ・きのうの ピザは **おいしかったです**。 Kinoo no piza wa **oishikatta desu**. La pizza de ayer estuvo deliciosa.
- ・えいがは あまり **おもしろくなかったです**。 Eega wa amari **omoshirokunakatta desu**. La película no fue muy buena.

いいです IIDESU の過去形は、よかったです YOKATTA DESU(肯定)、よくなかったです YOKUNAKATTA DESU(否定)です。

- ・きのうの しあい **よかったです**。 Kinoo no shiai wa **yokatta desu**. El partido de ayer fue bueno.
- ・りょこうは あまり **よくなかったです**。 Ryokoo wa amari **yokunakatta desu**. El viaje no fue muy bueno.

過去のことがらについてどうだったか尋ねるときには、どうでしたか DOO DESHITA KA と言います。

- ・やすみは **どうでしたか**。 Yasumi wa **doo deshita ka**. ¿Qué tal fueron tus vacaciones?

3. デパートは にぎやかでした。 Los grandes almacenes estaban muy concurridos.

過去のことがらについてどうだったか言うとき、な形容詞過去形～でした DESHITA, ～じゃなかったです JANAKATTADESU を使います。

たいへんです taihen desu (現在肯定形) → たいへんでした taihen deshita (過去肯定形)

たいへんじゃないです taihenjanai desu (現在否定形) → たいへんじゃなかったです taihenjanakatta desu (過去否定形)

- ・はなびは とても きれいでした。 Hanabi wa totemo kiree deshita. Los fuegos artificiales fueron muy bonitos.
- ・ホテルの へやは しずかでした。 Hotel no heya wa shizuka deshita. La habitación del hotel era silenciosa.
- ・そうじは たいへんじゃなかったです。 Sooji wa taihen janakatta desu. No me costó mucho limpiar casa.

4. わたしは どこにも いきませんでした。 No fui a ningún sitio.

どこにも行かなかったと言うときには動詞の前に、どこにも DOKO NI MO という言葉を添えます。なにもしなかったと言うときには同様に、なにも NANIMO という言葉を添えます。動詞を否定形にするのを忘れないでください。

- ・にちようび どこにも いきませんでした。 Nichiyooi doko ni mo ikimasendeshita. El domingo no fui a ningún sitio.
- ・なにも しませんでした。 Nani mo shimasendeshita. No hice nada.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 顔文字

日本語に限らず携帯メールやネットサイトへの投稿で顔文字がよく使われています。言葉だけでは伝えきれない感情を相手に伝えたいという気持ちの表れでしょう。日本のものは欧米のものとは違って顔が横倒しになっていません。

- (^_^) 笑顔。満足、うれしい、などの気持ちを表している。
- \(^▽^)/ 両手を挙げてよろこんでいる。たのしさ、うれしさ、よろこびを表している。
- (o´д`)=3 ため息。疲れた、大変だ、などの気持ちを表している。
- (T_T) 両目から涙。悲しみを表している。
- m(_ _)m 両手をついて謝っている。
- orz 頭を垂れ両手と膝を地面についた人を横から見た姿、がっかりした様子を表している。

2. 感想など自分の気持ちを表す表現

自分の経験について話すときに、それについてどう感じたか自分の気持ちを述べると、話の内容がよりいきいきとします。以下のようなものがあります。

- ・おもしろかったです: 映画、本、まんがなどについて、
- ・たのしかったです: 友だちと飲みに行ったこと、子どもと公園で遊んだこと、パーティーなどについて、
- ・うれしかったです: ひいきのチームが試合に勝ったこと、プレゼントをもらったことなどについて、
- ・よかったです: 花火大会、美術館などについて、
- ・たいへんでした: 仕事、そうじ、交通渋滞などについて、

3. 相手の経験について感想をいう表現

誰かが話しているのを聞いているときに「そうですか」「ああ、そうですか」などと言うと、ちゃんと話を聞いているよというサインになります。また、その話の内容がよい経験について述べているものだったら「よかったですね」、大変な経験だったら「大変でしたね」などの感想を言います。

だい18か つぎは きょうとに いきたいです

Tsugi wa Kyooto ni ikitai desu



形
<ul style="list-style-type: none"> ・おてらを みました。それから、おみやげを かいました。 Otera o mimashita. Sorekara, omiyage o kaimashita. ・おすしは おいしかったです。でも、たかかったです。 Osushi wa oishikatta desu. Demo, takakatta desu. ・かぶきは きれいでした。そして、おもしろかったです。 Kabuki wa kiree deshita. Soshite, omoshirokatta desu. ・きょうとに いきたいです。 Kyooto ni ikitai desu.

使い方
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行中にした行動を、した順番に言います。 ・旅行中の出来事がどうだったか、2つの対比する感想を言います。 ・旅行中の出来事がどうだったか、2つの並列する感想を言います。 ・次の休みにしたいことを言います。

1. おてらを みました。それから、おみやげを かいました。 Visité el templo. Después compré souvenirs.

この課では、二つの文をつなげて言うための、便利な接続詞をいくつか学びます。

いくつかの行動を時系列に沿って言うときに、それから SOREKARA, después という接続詞で文と文を結びます。

・おてらを みました。**それから**、おみやげを かいました。 Otera o mimashita. **Sorekara**, omiyage o kaimashita.

Fuí al templo. Después compré los souvenirs.

・えきで ともだちに あいました。**それから**、いっしょに かいものをしました。

Eki de tomodachi ni aimashita. **Sorekara**, isshoni kaimono o shimashita.

Ví a un amigo en la estación. Después fuimos de compras juntos.

2. おすしは おいしかったです。でも、たかかったです。 El sushi estuvo delicioso. Pero fue caro.

ある事柄について、肯定的なことと否定的なことを対比して言うときに、でも DEMO, pero という接続詞で文と文を結びます。

・すしは おいしかったです。**でも**、たかかったです。 Sushi wa oishikatta desu. **Demo**, takakatta desu.

El sushi fue delicioso. Pero fue caro.

・りょこうは つかれました。**でも**、たのしかったです。 Ryokoo wa tsukaremashita. **Demo**, tanoshikatta desu.

El viaje fue agotador. Pero fue divertido.

3. かぶきは きれいでした。そして、おもしろかったです。 El Kabuki fue bonito. Y fue interesante.

ある事柄について、肯定的なことを二つ言うとき、または否定的なことを二つ並列して言うときに、そして SOSHITE という接続詞で文と文を結びます。

・かぶきは きれいでした。そして、おもしろかったです。 Kabuki wa kiree deshita. Soshite, omoshirokatta desu.

El kabuki fue bonito. E interesante.

・まつりは にぎやかでした。そして、たのしかったです。 Matsuri wa nigiyaka deshita. Soshite, tanoshikatta desu.

El festival fue muy animado. Y divertido.

4. きょうとに いきたいです。 Quiero ir a Kyoto.

自分がしたいことを言うとき、動詞ます形の語幹+たいです TAI DESU の形を使います。相手がしたいこと、行きたいところ等を尋ねるときにも、この形を使います。否定形は動詞ます形の語幹+たくないです TAKUNAI DESU です。

・ほっかいどうに いきたいです。

Hokkaidoo ni **ikitai desu.**

Quiero ir a Hokkaidoo.

・ふじさんを みたいです。

Fujisan o **mitai desu.**

Quiero ver el Monte Fuji.

・おみやげを たくさん かいたいです。

Omiyage o takusan **kaitai desu.**

Quiero comprar muchos souvenirs.

・あしたは なにを したいですか。

Ashita wa nani o **shitai desu ka.**

¿Qué quieres hacer mañana?

・おさけは のみたくないです。

Osake wa **nomitakunai desu.**

No quiero beber sake.

同じ querer でも、ほしい対象が名詞のときには、名詞+助詞が GA+ほしいです HOSHII DESU というほかの形があります(15 課参照)。

・ともだちに あいたいです。

Tomodachi ni **aitai desu.**

Quiero ver a mis amigos.

・ともだちが ほしいです。

Tomodachi ga **hoshii desu.**

Quiero amigos.

スペイン語話者のための！ことばと文化コラム

1. 日本の観光地 広島

広島には、宮島の厳島神社と広島平和記念資料館(原爆ドーム)があります。それぞれユネスコの世界遺産(文化遺産)にも選ばれていますし、大手旅行クチコミサイトの外国人による日本の観光地人気投票で 2010 年に 1 位と 2 位になりました。厳島神社は6世紀に創建され 12 世紀に現在の姿の社殿が造営されました。海上に建てられた社殿と大鳥居の美しさが注目を集めています。一方の平和記念資料館は原爆ドームをはじめ資料館の展示内容は必見とのコメントが寄せられています。

2. 日本の観光地 沖縄

沖縄は日本列島のずっと南に位置する島嶼群で、青い海、白い砂のビーチ、珊瑚礁といった自然と、言葉、音楽、食べ物、工芸品、建築など独特の歴史文化が観光客をひきつけています。

3. 日本の観光地 京都

京都は 8 世紀末から 19 世紀後半まで日本の首都で、政治・文化の中心地でした。仏教寺院や神道の神社、名所旧跡が数多く残る世界有数の観光都市です。

4. 日本の観光地 北海道

北海道は日本列島の北部に位置し、列島を構成する四つの主要な島の一つです。夏は避暑やアウトドアスポーツ、ドライブ、オートバイツーリング、冬はスキーやスノーボードに訪れる観光客が大勢います。温泉や冬の海の味覚も大きな魅力です。近年では中国、韓国、豪州など海外からの観光客も増えてきているそうです。

まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 文法解説書

50 音順索引

- あげます L15
あそこ L8
あちら L8
あの L16
あのう L3
あまり L5, L11
ありがとうございます L1, L8
あります L7, L8, L13, L14
ありますか L16
あるいて L13
あれ L16
いいえ L1
いいです L10, L13
いいですね L12
いいな L16
いくつ L4, L7
いくら L16
いただきます L5, L8
いちばん L6
いつ L9, L10, L12
いつから L9
いつでも L10
いつまで (L10)
いつも L5
います L7, L8, L14
いらっしゃい L8
いらっしゃいませ L6, L8
い形容詞 L6, L7, L14, L17
うれしかったです L17
えっ L3
おいくつ L4
おさきに しつれいします L1
おしごと L3
おじゃまします L8
おつかれさまでした L1
おなまえ L3
おねがいます L2, L6, L8, L13
おはようございます L1
おめでとう L10
おもしろかったです L1
か L3, L4, L5
かっこいい L16
-かったです L17
から L10, L13
かわいい L16
かんぱい L10
が L3, L5, L6, L7, L11, L12, L13, L14, L15
が いいです L10, L13
きて みても いいですか L16
きれいな L6
ください L6, L16
くなかったです L17
くん L2
ぐらい L10
-こ L15
コーヒー、のみますか L5
ここ L8
こちら L8
こちらへ どうぞ L8
この L16
これ L16
こんにちは L1
こんばんは L1
ごご L9
ごぜん L9
ごちそうさま L5
ごめんください L8
ごろ L9

さい L4	-ちゃん L2
-さつ L15	ちょっと L11, L12
-さま L2	つ L6, L7
さようなら L1	-てください L2
-さん L2	で L6, L7, L11, L12, L13, L15
しつれいします L1	できます L3, L11
します L9	でした L17
します L9	です L3, L5, L8, L9
-じ L8	ではないです L3
-じかん L10	でも L18
じゃあ、また L1	と L4, L5, L6, L7
じゃないです L3, L5	ときどき L11
じゃなかったです L17	どう でしたか L17
助詞 (日本語概説)	どう やって L13
助数詞 L4, L6, L7, L15	どうぞ L8
すきじゃないです L5, L11	どうぞ あがってください L8
すきです L5, L6, L11	どこ L6, L8, L12, L13, L14, L15
すきな L6	どこで L6, L13
すこし L3, L11	どこで かえますか L15
すみません L1, L10, L13	どこにも L17
すんでいます L4	どちら L8
ぜんぜん L11	どれ L16
そうしましょう L6	どんな L11
そうですか L3, L17	なに L3, L5, L7, L11, L14, L15
そこ L8	なにも L17
そして L18	なん L3, L4
そちら L8	なんじ L9, L10
その L16	なんじから L10
それ L16	なんじかん L10
それから L18	なんじに L9
-たいです L15, L18	なんじまで L10
たいへんでした L17	なんにん L4, L7
たいへんでしたね L17	なんようび L10
-たくないです L18	な形容詞 L5, L6, L7, L14, L17
たのしかったです L17	に L4, L7, L8, L9, L10, L12, L13, L14, L15
たのしみです L11	にいきます L12
だいじょうぶです L10	には L14
だいすきです L11	にん L4, L7, L15
だめです L10	ね L3
だれ L7, L15	の L4, L8, L14

は L3, L5, L7, L8, L10, L11, L13, L14, L15, L16

はい L1

はい、どうぞ L16

はん L9, L10

ふん／ぶん L9

へ L10

ペンキようちゅうです L3

ほしいです L15, L18

ほしいな L16

ほん L15

まあまあかな L16

まい L15

-ました L15, L17

-ましょう L6, L12

-ます L3, L5, L6

-ません L3, L5

-ませんか L12

-ませんでした L15, L17

まで L9, L13

も L3, L5

もちろんです L12

もらいます L15

やすい L16

よ L6, L13

よかったです L17

よかったですね L17

よく L3, L5, L11, L16, L17

よくなかったです L16

よく にあいますよ L16

わあ、たかい L16

を L5, L9, L13, L15, L16

執筆(五十音順) 今枝亜紀 熊野七絵 鈴木裕子 藤野華子

編集 熊野七絵 ラケル・ポヤン (改訂版) 篠崎撰子

イラストレーション マリア・ルビオ・カロ

まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 文法解説書

MARUGOTO GRAMÁTICA A1

2013年3月31日 初版発行

2018年8月31日 改訂版発行

編著・発行 国際交流基金マドリード日本文化センター
The Japan Foundation, Madrid

連絡先 国際交流基金マドリード日本文化センター
Fundación Japón, Madrid
Palacio de Cañete – Planta 2
C/ Mayor 69, 28013 Madrid, ESPAÑA
TEL: +34 91 310 15 38
Website: <http://www.fundacionjapon.es>
E-mail: nihongo@fundacionjapon.es